

重要

リモコンコードの設定 96ページ

再生できるディスクの種類 101ページ

ディスクの操作について 101ページ

7.0型ワイドシステムTV/DVD-V/VCD/CD・
WMA/MP3対応プレーヤー

AVX-P9DV

取扱説明書

必ずお読みください

目次

はじめに

内蔵プレーヤー

DVD

ビデオCD

CD

WMA/MP3

テレビ

SOURCE

MASTER

マルチCD

MASTER

設定

各種の設定

DVDの機能設定

その他の機能

付録

目次 8ページ

carrozeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやDVDなどを見ない



禁止

運転者がテレビやDVDなどを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやDVDなどを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

[使用方法]

モニター部にヒーターの熱などを当てない

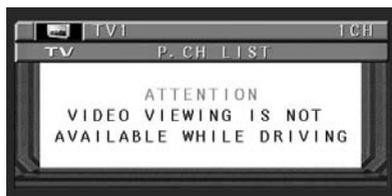


禁止

モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

安全走行のために

本機はパーキングブレーキのオン/オフを検知しており、走行中にテレビやDVDの映像を見ることができないようになっています。(走行中は次のようなメッセージが表示されます。)



例：テレビを見ようとしたとき

このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけるると解除されます。

リアモニターについて

リア映像出力に、後部座席専用のモニターを接続すれば、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。リア映像出力は、パーキングブレーキのオン/オフに関係なく映像が出力されます。リア映像出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

携帯電話をお使いになる際のご注意

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面に、はん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

ドルビーデジタル/DTS対応

当社の5.1 ch対応・DSPユニット（例：DEQ-P9）やオーディオマスターユニット（例：AXM-P9）と組み合わせると、5.1チャンネルで収録された映画／音楽のDVDを臨場感豊かに再現することができます。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「DTS」は、Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

ナビゲーションユニットと組み合わせた場合

組み合わせ可能なナビゲーションについて

本機は、30ピンRGB出力付きのHDDナビゲーションオートサーバーのみ組み合わせることができます。ただし、以下の制限事項があります。

- 本機からナビゲーションユニットのミュージックサーバーへは録音できません。
- 本機には、ピクチャーサイドピクチャー（P side P）、ピクチャーインピクチャー（P in P）機能はありません。
- 本機は、ナビゲーションユニットの音声認識による「AV操作」には対応していません。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、本機の画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。

リモコンのスイッチの設定

ナビゲーションユニットのリモコンのスイッチ1～4を正しく切り換えてください。（→ナビゲーションユニットの取扱説明書）

- 本機をナビゲーションユニットのリモコンで操作する場合、操作モード切り替えスイッチを「AUDIO」に切り換えてください。（→ナビゲーションユニットの説明書）

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

MP3再生対応

MP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（→104、113ページ）

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配付システムなど。

組み合わせるカーステレオについて

本機は組み合わせるカーステレオによって、一部の操作が異なります。

パイオニア製のIP-BUS入力付きメインユニットと組み合わせる場合

- モードスイッチは、SOURCEモード (S) に切り換えます。
- OSDスイッチは、OSD ONに切り換えます。
- DVDの操作は、主に本機で行います。(一部の機能はメインユニットからも操作できます。)
- テレビの操作は、メインユニットで行います。

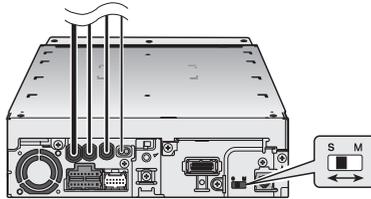
お手持ちのRCA入力 (またはFMラジオ) 付きカーステレオと組み合わせる場合

- モードスイッチは、MASTERモード (M) に切り換えます。
- OSDスイッチは、OSD OFFに切り換えます。
- 操作は、すべて本機で行います。
- 音声は、カーステレオから出力されます。

モードスイッチの切り換えについて

組み合わせるカーステレオに合わせて、本機背面のモードスイッチをボールペンの先などで切り換えます。

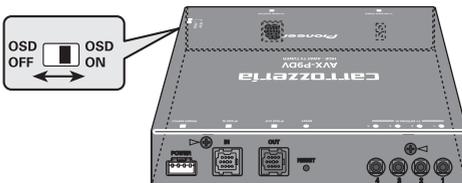
- モードスイッチを切り換えたときは、リセットボタンを押してください。(→100ページ)



OSDスイッチの切り換えについて

組み合わせるカーステレオに合わせて、TVチューナー側面のOSDスイッチをボールペンの先などで切り換えます。

- OSDスイッチを切り換えたときは、リセットボタンを押してください。(→100ページ)



目次

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください	2
安全上のご注意	3
安全走行のために	4
バッテリー上がりを防ぐために	5
ドルビーデジタル/DTS対応	5
ナビゲーションユニットと 組み合わせた場合	5
WMAについて	6
MP3再生対応	6
組み合わせるカーステレオについて	7

はじめに

本体・モニター	12
各部の名称	12
リモコン	14
各部の名称	14
リモコンに電池を入れる	16
リモコン取り扱い上のご注意	16
リモコンの操作モードについて	17
50枚型マルチCDプレーヤーを ご使用になる場合のご注意	17
電源のON/OFF	18
電源ON	18
電源OFF	18
情報プレートの見かた	19
モニターの操作	20
モニターの収納	20
モニターの角度調節	20
モニターを一時的に手前に倒す	21
ディスクの出し入れ	22
ディスクの入れかた	22
ディスクの取り出しかた	22

聞きたいソース（音源）を選ぶ （SOURCE）	23
ソースを切り換える	23
ソースをOFFにする	23
聞きたいソース（音源）を選ぶ （MASTER）	24
ソースを切り換える	24
ソースをOFFにする	25
タッチキーの基本操作	26
タッチキーを表示する	26
メニュー操作の基本	27

DVD

DVDを見る	28
基本的なDVDビデオ画面の見かた	28
基本的なリモコンの操作方法	28
内蔵プレーヤー（DVD）に切り換える	29
タッチキーを表示する	29
再生を停止する	29
一時停止する	29
コマ送り／スロー再生する	30
早戻し／早送りする	30
チャプターの選択（頭出し）をする	30
タイトルを切り換える	30
メニューを操作する	31
再生中に音声や言語を切り換える	31
再生中に字幕言語を切り換える	32
再生中にアングルを切り換える	32
お気に入りの場面を記憶させる （ブックマーク）	32
いろいろな再生をする	33
FUNCTIONメニューを表示する	33
リピート再生する（REPEAT）	33
再生を一時停止（ポーズ）する （PAUSE）	34
見たい場所をさがす（SEARCH）	34
音声の出力方法を切り換える （L/R SELECT）	35

ビデオCD

ビデオCDを見る	36
基本的なビデオCD画面の見かた	36
基本的なリモコンの操作方法	36
内蔵プレーヤー (VideoCD) に切り換える	37
タッチキーを表示する	37
再生を停止する	37
一時停止する	37
コマ送り/スロー再生する	38
早戻し/早送りする	38
トラックの選択 (頭出し) をする	38
PBCメニューを操作する	38
音声の出力方法を切り換える	38
いろいろな再生をする	39
FUNCTIONメニューを表示する	39
リピート再生する (REPEAT)	39
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	40
見たい場所をさがす (SEARCH)	40
音声の出力方法を切り換える (L/R SELECT)	41

CD

CDを聞く	42
基本的なCD画面の見かた	42
基本的なリモコンの操作方法	42
内蔵プレーヤー (CD) に切り換える	43
タッチキーを表示する	43
再生を停止する	43
一時停止する	43
早戻し/早送りする	43
トラックの選択 (頭出し) をする	43
いろいろな再生をする	44
FUNCTIONメニューを表示する	44
リピート再生する (REPEAT)	44
ランダム再生をする (RANDOM)	44
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	45
スキャン再生する (SCAN)	45
聞きたい曲をさがす (SEARCH)	46
リストからトラック名で選んで 再生する (TRACK LIST)	47
タイトルを入力する	47
「CD TEXT」の情報表示	49

WMA/MP3

WMA/MP3を聞く	50
基本的なWMA/MP3画面の見かた	50
基本的なリモコンの操作方法	50
内蔵プレーヤー (WMA/MP3) に 切り換える	51
タッチキーを表示する	51
再生を停止する	51
一時停止する	51
早戻し/早送りする	52
トラックの選択 (頭出し) をする	52
フォルダーを切り換える	52
いろいろな再生をする	52
FUNCTIONメニューを表示する	52
リピート再生する (REPEAT)	53
ランダム再生をする (RANDOM)	53
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	54
スキャン再生する (SCAN)	54
聞きたい曲をさがす (SEARCH)	55
曲名で選んで再生する	55

テレビ (SOURCE)

組み合わせるメインユニットについて	56
メインユニットのボタン名称	56
テレビを見る	57
テレビ (TV) に切り換える	57
バンドを切り換える	57
チャンネルを選んで、テレビを見る	57
いろいろな操作	58
FUNCTIONモードを切り換える	58
受信状態の良いチャンネルを自動的に 記憶させる	58
2か国語放送の音声を切り換える	59

テレビ (MASTER)

テレビを見る	60
基本的なテレビ画面の見かた	60
基本的なリモコンの操作方法	60
テレビ (TV) に切り換える	61
タッチキーを表示する	61
バンドを切り換える	61
チャンネルを選んで、テレビを見る	61
プリセットチャンネルリストへ登録する (P. CH LIST)	62
いろいろな操作	62
FUNCTIONメニューを表示する	62
受信状態の良いチャンネルを自動的に 記憶させる (BSSM)	63
2か国語放送の音声を切り換える (MPX)	63

マルチCD (MASTER)

マルチCDでCDを聞く	64
基本的なマルチCD画面の見かた	64
基本的なリモコンの操作方法	64
マルチCD (M-CD) に切り換える	65
タッチキーを表示する	65
ディスクを選ぶ	65
ディスクを切り換える	65
早戻し／早送りする	65
トラックの選択 (頭出し) をする	65
いろいろな再生をする	66
FUNCTIONメニューを表示する	66
リピート再生する (REPEAT)	66
ランダム再生をする (RANDOM)	67
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)	67
スキャン再生する (SCAN)	68
CDの音質を調整する (COMP)	69
リストからトラック名で選んで 再生する (TRACK LIST)	69
タイトルを入力する (TITLE EDIT)	70
「CD TEXT」の情報表示	70
ITSを使う	71
ITSリストを作る (ITS MEMORY)	71
ITSリストから再生する (ITS PLAY)	72
ITSリストから1曲ずつ削除する	73
ITSリストからディスクごとに削除する	73

各種の設定

各種の設定をする	74
初期設定	74
初期設定メニューを表示する	74
外部機器の音声を聞く (AUX)	75
外部機器の名称を入力する	75
ディスクの自動再生を設定する (DVD D. AUTO)	76
リモコンコードを設定する (RMT CODE)	76
基本設定	77
基本設定メニューを表示する	77
ビデオ入力1を設定する (AV INPUT1)	77
ビデオ入力2を設定する (AV INPUT2)	78
バックカメラの接続を設定する (B. CAMERA)	78
リアモニターの表示を設定する (REAR DISP)	79
モニターの自動開閉／セットバックを 設定する (FLAP SET)	80
時計を設定する (CLOCK ADJ)	80

DVDの機能設定

DVDの機能を設定する	82
DVDセットアップメニューを 表示する	82
字幕言語を設定する	82
音声言語を設定する	83
メニュー言語を設定する	84
アシスト字幕を設定する	84
マルチアングルマークの表示／ 非表示を設定する	85
TVアスペクトを設定する	85
視聴制限を設定する (パレンタルロック)	86
デジタル出力を設定する (DIGTL OUT)	88
音声出力 (デジタル／アナログ) を 設定する (AUDIO OUT)	89
DVD自動再生を設定する (DVD A. PLAY)	90

その他の機能

エンタテインメントを表示させる	91
よく使う機能を直接操作する	91

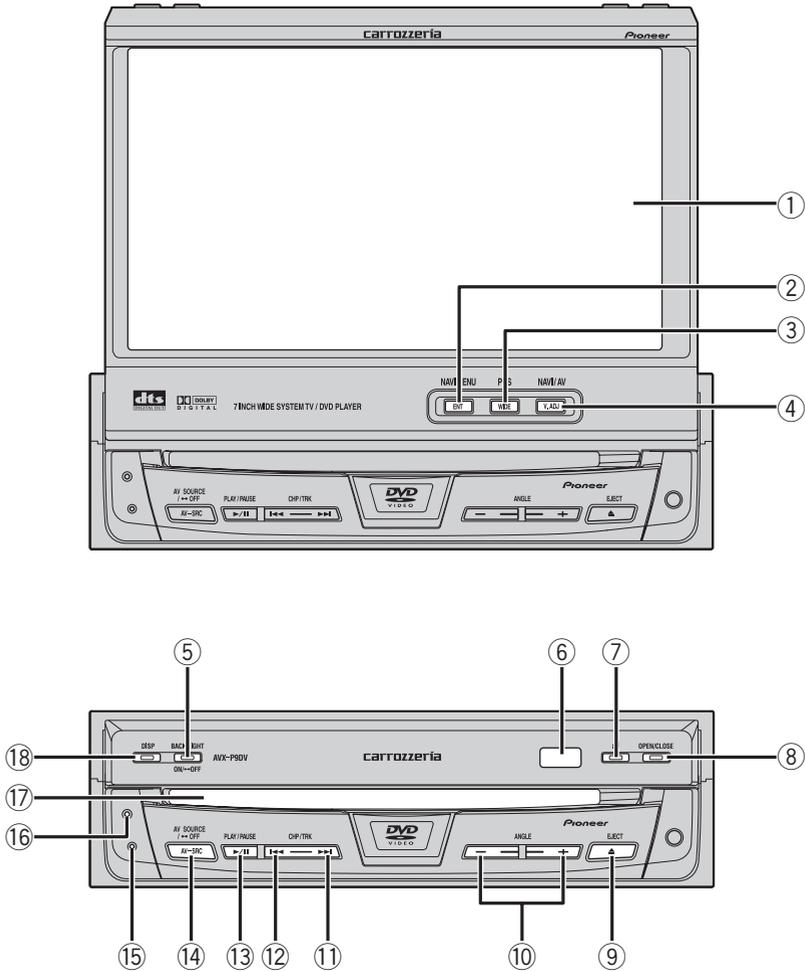
付 録

画面を消す	92
ワイド画面の拡大方法を切り換える	92
ワイドモードの種類	93
画質調整	94
リアモニターを使うとき	95
リアモニターでDVDや ビデオCDを見る	95
リモコンコードの設定	96
組み合わせたDVDプレーヤー を操作する	97
DVDをメインユニットから操作する	98
機能対応表	98
ファンクションモードの切り換え	98
本機のリセット	100
再生できるディスクの種類	101
DVDに表示されているマークの意味	103
著作権について	103
WMA/MP3について	104
フォルダーとWMAおよび MP3ファイルについて	104
WMAとは?	105
再生できるWMAファイルについて	105
MP3とは?	105
再生できるMP3ファイルについて	105
使用上の注意	106
モニターの正しい使いかた	107
地上デジタルテレビジョン放送に ついて	109
言語コード表	111
用語解説	112
故障かな?と思ったら	115
こんなメッセージが表示されたら	120
保証書とアフターサービス	121
仕 様	122
索 引	124

はじめに

本体・モニター

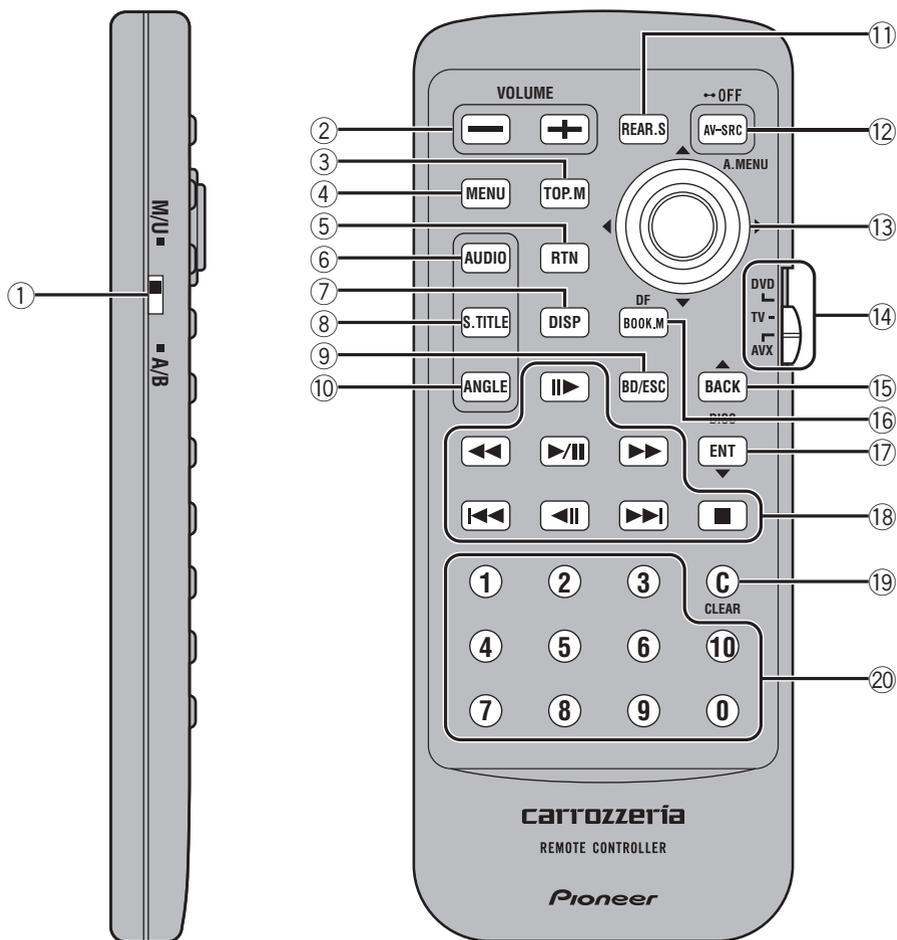
各部の名称



- ① **画面**
7インチのワイド液晶画面です。
- ② **ENTボタン (→91ページ)**
画面表示 (エンタテインメント) を切り換えます。
- ③ **WIDEボタン (→92ページ)**
ワイド画面の拡大方法を切り換えます。
- ④ **V.ADJボタン (→94ページ)**
長く押すと、画質調整メニューに変わります。ナビゲーションシステムを接続している場合、ナビゲーション画面とソース画面を切り換えます。
- ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステムの説明書をご覧ください。
- ⑤ **BACK LIGHTボタン (→92ページ)**
長く押すと、モニターのバックライトをOFFにします。もう一度押すとバックライトをONにします。
- ⑥ **外光センサー (→94ページ)**
周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動調整するためのセンサーです。
- ⑦ **一時可倒ボタン (→21ページ)**
モニターを一時的に水平にします。
- ⑧ **OPEN/CLOSEボタン (→20ページ)**
モニターを収納したり、立ち上げたりします。
- ⑨ **イジェクトボタン (→22ページ)**
ディスクを取り出します。
- ⑩ **ANGLEボタン (→20ページ)**
モニターの角度を調整します。
- ⑪ **▶▶ ボタン**
次のトラック (チャプター) の頭出しをします。
- ⑫ **◀◀ ボタン**
現在 (または前) のトラック (チャプター) の頭出しをします。
- ⑬ **▶|| ボタン**
再生の開始および一時停止をします。
- ⑭ **AVソース (AV-SRC) ボタン**
ソース (本機に接続されている機器) を切り換えます。
- ⑮ **リアONインジケーター**
内蔵プレーヤーの映像をリアモニターに表示しているときに点灯します。
- ⑯ **リセットボタン (→100ページ)**
出荷時の設定に戻します。
- ⑰ **ディスク挿入口 (→22ページ)**
ディスクを挿入します。
- ⑱ **DISPボタン**
画面表示を切り換えます。

リモコン

各部の名称

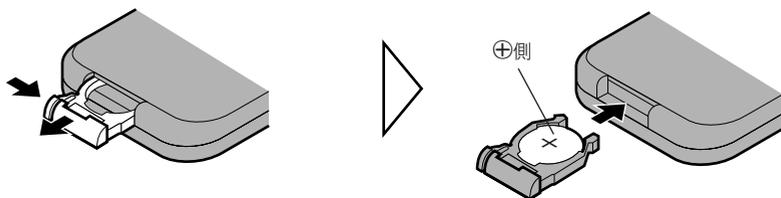


- ① **リモコンコード切り換えスイッチ (→96ページ)**
リモコンコードを切り換えます。
- ② **VOLUME ( / ) ボタン**
パイオニア製メインユニットの音量（ボリューム）を調節します。
- ③ **TOP.M ボタン**
DVDの最上位メニューを表示します。
- ④ **MENU ボタン**
DVDのディスクメニューを表示します。
- ⑤ **RTN ボタン**
ビデオCDのPBCメニューを表示します。
- ⑥ **AUDIO ボタン**
DVDの音声言語を切り換えます。
- ⑦ **DISP ボタン**
画面表示を切り換えます。
- ⑧ **S.TITLE ボタン**
DVDの字幕言語を切り換えます。
- ⑨ **BD/ESC ボタン**
テレビのバンドを切り換えます。
- ⑩ **ANGLE ボタン**
DVDのアングルを切り換えます。
- ⑪ **REAR.S ボタン (→95、97ページ)**
DVDやビデオCDのリア映像出力をON/OFFします。
- ⑫ **AVソース () ボタン**
ソース（本機に接続されている機器）を切り換えます。
- ⑬ **ジョイスティック ()**
上下左右に操作したり、押すことでさまざまな機能を実行できます。
- ⑭ **操作モード切り換えスイッチ (→17ページ)**
リモコンの操作モードを切り換えます。
- ⑮ **BACK ボタン**
一つ前の画面に戻ります。
- ⑯ **BOOK.M ボタン**
DVDモードでは、DVDを次に再生するときに、再生を始める場面（つづきで見たい場面）を記憶します。(→32ページ)
- AVXモードでは、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵プレーヤー、マルチCD (MASTER) でポーズ、テレビでBSSMを操作することができます。(→91ページ)
- ⑰ **ENT ボタン**
画面表示（エンタテインメント）を切り換えます。
- ⑱ **ディスク操作ボタン**
各種ディスクの再生、停止、早送りなどの操作をします。
- ⑲ **クリア () ボタン**
入力した数字を取り消します。
- ⑳ **数字ボタン**
テレビのプリセットチャンネルや、ディスクのトラック番号などを直接指定します。

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。

リモコンの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

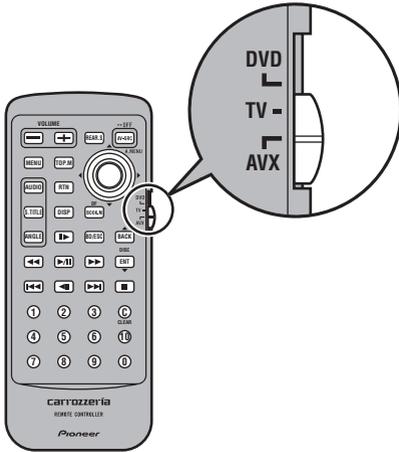


リモコン取り扱い上のご注意

- ・リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- ・付属の電池は充電できません。
- ・リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- ・不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

リモコンの操作モードについて

本機のリモコンには、DVDモード、TVモード、AVXモードの3つの操作モードがあります。



DVDモード：

以下の操作をするときに使います。

- DVDのディスクメニューをジョイスティックで操作するとき
- ビデオCDのPBCメニューを数字ボタンで操作するとき
- DVDのタイトルを数字ボタンで指定するとき

TVモード：

チャンネル操作をジョイスティックで行うときに使います。

AVXモード：

リモコンで、各ソースを操作するときに使います。通常は、このモードでお使いください。

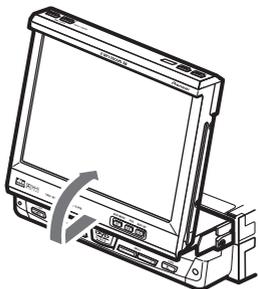
- DVDモードのときは、**DISP** **ENT** **BACK** ボタンは使えません。
- TVモードのときは、ジョイスティック、AVソース (**AV-SRC**)、VOLUMEボタンだけ使えます。

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

電源のON/OFF

電源ON



エンジンスイッチをACCまたはONにすると、本機の電源がONになり、モニターが自動的に立ち上がります。

- 基本設定の「FLAP SET」(→80ページ)で「AUTO FLAP」をMANUALに設定していると、モニターは自動で立ち上がりません。OPEN/CLOSEボタンを押して、立ち上げてください。
- 本機とナビゲーションユニットを組み合わせている場合、エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、画面が黒くチラつくことがあります。故障ではありません。

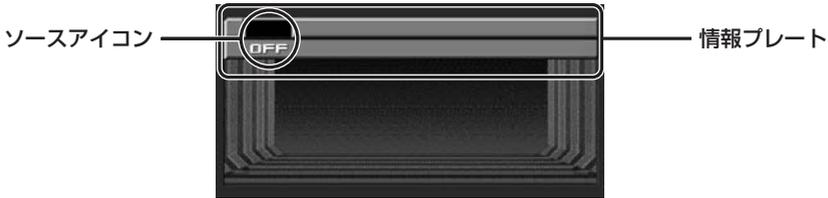
電源OFF

エンジンスイッチをOFFにすると、本機の電源がOFFになります。モニターは、自動的に収納されません。

基本設定の「FLAP SET」(→80ページ)で「AUTO FLAP」をMANUALに設定していると、モニターは自動で収納されません。OPEN/CLOSEボタンを押して、収納してください。

情報プレートの見かた

電源を入れたときや、ソースを選択したり切り換えたときには、画面の上部に情報プレートが表示されます。

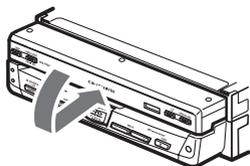


情報プレートの左端にはソースアイコンがあり、現在選択しているソースが表示されます。また、ソースアイコンの右側には、選択したソースに応じて、再生時間やチャンネルなどのさまざまな情報が表示されます。(詳しくは、各ソースの説明をご覧ください。)

表示する内容が、一度に表示しきれない場合は、**[DISP]** ボタンを押すたびに表示が切り換わります。また、テレビやDVD、ビデオCDなどの映像ソースでは、情報プレートや時計表示は、約8秒後に自動的に消えます。情報プレートを表示したいときは、**[DISP]** ボタンを押してください。

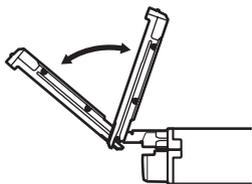
モニターの操作

モニターの収納



OPEN/CLOSEボタンを押すと、モニターを収納することができます。

モニターの角度調節

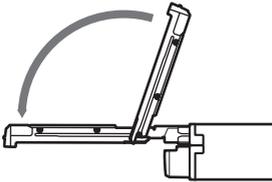


車外からの光が画面に反射しているときなどは、本体のANGLEボタンを押して、見やすくなるようにモニターの角度を調節することができます。

角度調節は、手で行わないでください。モニターに強い力が加わると、故障することがあります。

モニターを一時的に手前に倒す

モニターの背後にあるスイッチを操作したいときなどは、本体の一時可倒ボタンを押すと、モニターを一時的に手前に倒すことができます。

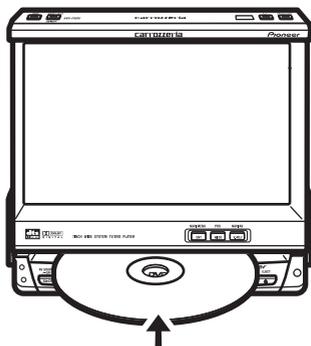


ボタンを押すとモニターが一時的に手前に倒れ、約10秒後に自動的に元に戻ります。

- モニターが完全に収納されたことを確認してください。モニターが途中で止まってしまった場合、OPEN/CLOSEボタンを押して必ず収納してください。(そのまま放置しないでください。故障することがあります。)
- モニターは、自動開閉機能により次のように動作します。
 - エンジンスイッチをON (またはACC) にすると、自動的にモニターが立ち上がります。車のエンジンスイッチをOFFにすると、OFFにしてから約6秒後にモニターが本体に収納されます。
 - 自動開閉機能を、OFFにすることもできます。(→80ページ)
- 本体にモニターを収納して車のエンジンスイッチをOFFにしたときは、再びエンジンスイッチをON (またはACC) にしても、モニターは立ち上がりません。OPEN/CLOSEボタンを押して立ち上げてください。
- モニターが車のコンソールやダッシュボードに当たる場合は、ANGLEボタンの(－)側を押して、モニターを手前に調節してください。
- 立ち上がったモニターを後ろに下げることができます。(→80ページ)
- 角度調節したモニターを立ち上げたときは、自動的に調節した角度になります。

ディスクの出し入れ

ディスクの入れかた

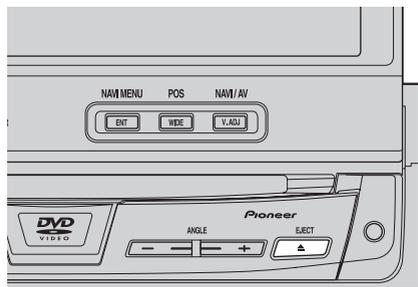


タイトル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。
挿入されたディスクの種類を自動判別して、再生が始まります。

- ・ 8 cmディスクもアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- ・ ディスク挿入口には、本機に対応したディスク以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

初期設定の「DVD D. AUTO」(→76ページ) をOFFに設定していると、ディスクを挿入しても自動的に内蔵プレーヤーにはなりません。AVソース (AV-SRC) ボタンを押してソースを選択してください。

ディスクの取り出しかた



イジェクトボタンを押すと、ディスクが本機から出てきます。

取り出したディスクは、ケース等に入れて保管してください。

聞きたいソース（音源）を選ぶ（SOURCE）

ソースを切り換える

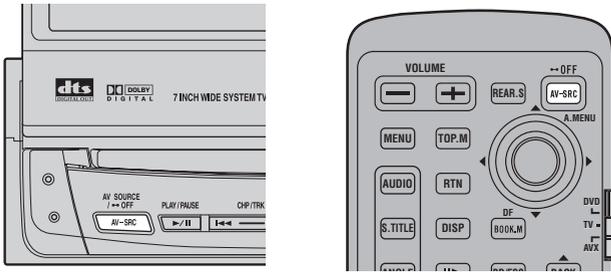
1 メインユニットのSOURCEボタンを押す

1枚型DVD/マルチDVDまたはテレビになるまで繰り返し押します。
 (→メインユニットの取扱説明書)

- ソースとして、1枚型DVD/マルチDVDがない場合は、本機の内蔵プレーヤーはエクスターナルユニットになります。
- テレビを選んだ場合、次の操作は必要ありません。

2 AVソース (AV-SRC) ボタンを押す

押すごとに、本機に接続されているソースが切り換わります。



内蔵プレーヤー → AV-1 (ビデオ1) → AV-2 (ビデオ2) → ナビゲーションユニットのソース 1
 → ナビゲーションユニットのソース 2

- 接続していないソースには切り換わりません。
- CDやDVDがセットされていないときは、内蔵プレーヤーには切り換わりません。
- ビデオ入力1、2の設定を「VIDEO」にしないと、AV-1やAV-2には切り換わりません。(→77、78ページ)

ソースをOFFにする

1 メインユニットのSOURCEボタンを長く（約1秒）押す

メインユニットの電源が切れます。

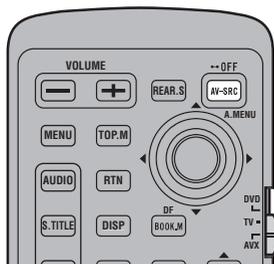
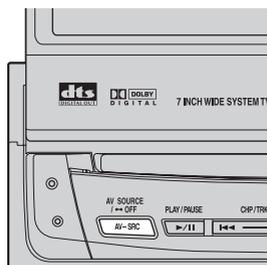
- AVソース (AV-SRC) ボタンを長く（約1秒）押すと、本機はOFFになりますが、メインユニットの電源はOFFになりません。
- モニターは立ち上がったまま、情報プレートに「POWER OFF」が表示されます。

聞きたいソース（音源）を選ぶ（MASTER）

ソースを切り換える

1 AVソース（AV-SRC）ボタンを押す

押すごとに、ソースが切り換わります。



テレビ → AV-1（ビデオ1）→ AV-2（ビデオ2）→ 内蔵プレーヤー → マルチCD（別売）→ EXT-1*1（エクスターナルユニット1）→ EXT-2*1（エクスターナルユニット2）→ AUX（外部機器）→ ナビゲーションユニットのソース 1 → ナビゲーションユニットのソース 2

- 接続していないソースには切り換わりません。
- CDやDVDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- ビデオ入力1、2の設定を「VIDEO」にしないと、AV-1やAV-2には切り換わりません。（→77、78ページ）
- AUX（外部機器）の設定をONにしないと、AUXには切り換わりません。（→75ページ）

*1 エクスターナルユニット（EXT）とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができますが、EXT-1、EXT-2のどちらに切り換えても「EXT」が表示されます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、EXT-1、EXT-2が自動的に設定されます。

ソースをOFFにする

1 AVソースボタン (AV-SRC) を長く (約1秒) 押す

ソースがOFFになります。モニターは立ち上がったまま、情報プレートのソースアイコンに「OFF」が表示されます。

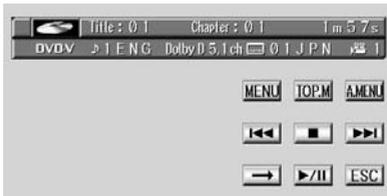
タッチキーの基本操作

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする（例：DVDを再生している場合）

タッチキーが表示されます。

表示されるタッチキーは、選んでいるソースやモードによって異なります。



2 操作したい機能のタッチキーにタッチする

例：

「▶/||」にタッチすると、ディスクを再生（または一時停止）します。

「→」にタッチすると、次のタッチキー表示に切り換えることができます。

3 操作が終わったら、「ESC」にタッチする

タッチキーが画面から消えます。

- [BD/ESC] ボタンを押すことで、タッチキーを画面から消すこともできます。
- タッチキー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、タッチキーは画面から消えます。

メニュー操作の基本

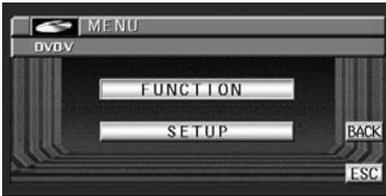
本機では、メインメニューから各ソースのさまざまな操作や設定を行います。

リモコンのジョイスティックで操作する場合、操作モード切り換えスイッチは、「AVX」に切り換えてください。(→17ページ)

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。

- ナビゲーションユニットのソースを選んでいる場合、操作できません。
- タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。
- ソース画面のときに、ジョイスティックを押すことでも、メインメニューを表示することができます。



2 操作したいメニューのタッチキーにタッチする

タッチしたメニューが表示されます。

「FUNCTION」：ソースごとに割り当てられたFUNCTIONメニューが表示されます。

「SETUP」：本機の基本設定のSETUPメニューが表示されます。

- ジョイスティックを上下左右に操作して、メニュー項目を選択してから、ジョイスティックを押すことでもメニューを表示することができます。
- ジョイスティックで選択されている項目は、黄色い枠が表示されます。
- 現在設定されている項目は、黄色く点灯します。

3 操作が終わったら、「ESC」にタッチする

ソース画面に戻ります。

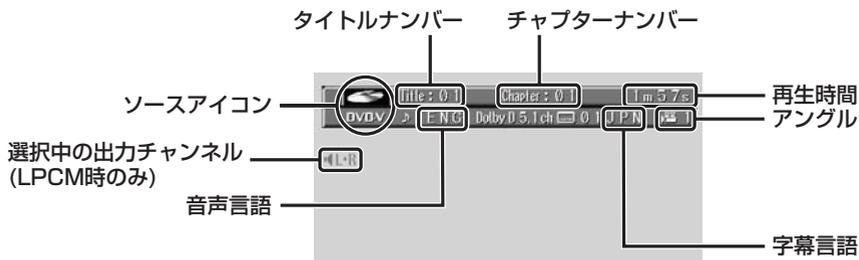
- 「BACK」にタッチするか、「BACK」ボタンを押すと、前の画面（一階層上のメニュー）に戻ります。
- 「NEXT」は、項目に次ページがある場合に表示され、タッチすると次ページに切り換わります。
- 「PREV」は、タッチすると「NEXT」で表示したページから前のページに戻ります。
- メニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

DVD

DVDを見る

基本的なDVDビデオ画面の見かた

DVDビデオを見るときには、以下のような情報が表示されます。
情報プレートは、DISP (DISP) ボタンを押すと表示されます。



基本的なリモコンの操作方法

DVDビデオの操作は、タッチキーとリモコンのAVXモードで行います。

DVDのディスクメニューでジョイスティックを使うときや、ダイレクトサーチで数字ボタンを使うときは、DVDモードにします。

- AUDIO ボタン** : 音声言語の切り換え
- S.TITLE ボタン** : 字幕言語の切り換え
- ANGLE ボタン** : アングルの切り換え

操作ボタン類

- ▶/⏸** : 再生の一時停止や、一時停止の解除 (再生の再開) (→29ページ)
- ◀/▶** : 押している間、早戻し/早送り (→30ページ)
- ◀◀/▶▶** : チャプターの選択 (現在のチャプター/次のチャプターの頭出し) (→30ページ)

ボタンを押した回数分、チャプターを飛ばして頭出しを行うこともできます。

- ◀◀/▶▶** : コマ送り再生 (→30ページ)

ボタンを長く押しすと、スロー再生します。

ジョイスティック

- 上下に操作する (◀↕▶) : タイトルの選択 (→30ページ)
- 左右に操作する (◀↔▶) : 早戻し、早送り、頭出し (現在のチャプター、次のチャプター) など (→30ページ)
- 押す : FUNCTIONメニューの表示 (→33ページ)

FUNCTIONメニューでの操作では、項目の選択や決定が行えます。(→33ページ)

- ボタン** : 再生の停止

数字ボタン

タイトル、チャプターナンバーの入力 (→34ページ)

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、DVDの映像を見られます。走行中は安全のため、DVDの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

DVDのディスクメニューをリモコンのジョイスティックで操作するときや、タイトルをリモコンの数字ボタンで操作したいときは、「DVD」モードにしてください。

ディスク挿入口にディスクを挿入したり、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

内蔵プレーヤー (DVD) に切り換える

1 AVソース (AV-SRC) ボタンを押して内蔵プレーヤー (DVD) にする

ソースを切り換えると、情報プレートが、約8秒間表示されます。

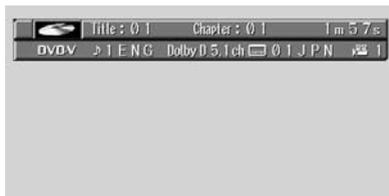
- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- DVDディスクによっては、操作を受け付けない部分があります。そのような場合は、⊘ (禁止マーク) が表示されます。(ディスクによっては、表示されないこともあります。)
- ディスクによっては、最初にディスクメニューが表示されるものがあります。その場合は、ディスクメニューから操作を行います。
- ディスク特有のメニューの操作方法は、ディスクの説明書をご覧ください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→101ページ) をご覧ください。
- 前回再生途中で他のソースに切り換えていた場合は、ディスクのその場所から再生が再開されます。ディスクを抜き差しした場合は、ディスクの最初から再生されます。

DVD情報の切り換え

DVD再生中は、情報プレートに言語や字幕、アングルなどの情報が表示されます。

情報プレートは、「DISP」ボタンを押すと表示されます。

約8秒間操作しなかった場合、情報プレートは消えます。



タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

「→」にタッチすると、次のタッチキー表示に切り換わります。

再生を停止する

1 「■」にタッチする

一時停止する

1 「▶/||」にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度「▶/||」にタッチします。

コマ送り／スロー再生する

コマ送り再生

1 「II▶」にタッチする

タッチするたびに映像がコマ送りされます。
「▶III」にタッチすると、通常再生に戻ります。

スロー再生

1 再生中に ▶ が表示されるまで 「II▶」にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。

スロー再生中にさらに「◀II」/「II▶」にタッチすると、スロー再生の速度を4段階（1/16 ← → 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2）で切り換えることができます。

「▶III」にタッチすると、通常再生に戻ります。

- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、コマ送り／スロー再生ができない場合があります。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

早戻し／早送りする

1 「◀◀」/「▶▶」にタッチする

タッチしている間、早戻し（◀◀）／早送り（▶▶）ができます。

ピッと音がするまで長く（約5秒）タッチし続けると、早戻し／早送りのままになります。

「▶III」にタッチすると、通常再生に戻ります。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

チャプターの選択（頭出し）をする

1 「◀◀」/「▶▶」にタッチする

「◀◀」にタッチすると、現在再生中のチャプターの頭出しができ、「▶▶」にタッチすると、次のチャプターの頭出しができます。またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のチャプターを飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分のチャプターを飛ばして頭出しを行うこともできます。

タイトルを切り換える

1 「▲」/「▼」にタッチする

再生するタイトルを切り換えることができます。

ジョイスティックを上下に倒して操作することもできます。

数字ボタンで選ぶとき（ダイレクトサーチ）

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

1 停止中に、見たいタイトル番号の数字ボタンを押す

指定したタイトルから再生が始まります。

数字ボタンの使いかた

3を選ぶとき ③を押す

10を選ぶとき ⑩と⑩を押す

23を選ぶとき ⑩・⑩・③の順に押す

メニューを操作する

ジョイスティックで操作するときは、リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

1 「MENU」または「TOP.M」にタッチする

ディスクのメニューが表示されます。
もう一度タッチすると、メニューに切り換えた場面から再生することができます。

2 「◀▶」にタッチする

ディスクのメニュー用タッチキーが表示されます。

3 「▲」 / 「▼」 / 「◀」 / 「▶」にタッチして、メニューを選ぶ

ジョイスティックで操作することもできます。

4 「ENTER」にタッチする

選択したメニューから再生されます。

- ジョイスティックを押して、選択したメニューから再生することもできます。
- ディスクによっては、ディスクメニューの無いものや、表示されない場合もあります。
- メニュー表示や操作方法は、ディスクによって異なります。

再生中に音声や言語を切り換える

再生中に言語や音声タイプ（ドルビーデジタルやDTS）を切り換えることができます。

1 再生中に「AUDIO」にタッチする

タッチするたびに音声切り換わりします。

- この機能は、音声が多音録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある(Ⓜ)マークの数字が音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- 「Dolby D」や「5.1ch」などの表示は、DVDに収録されている音声を表示していません。実際に再生される音声は設定により表示とは異なる場合があります。
- DTS音声はデジタル出力のみ対応しています。本機のデジタル出力を接続していない場合、DTS音声は出力されませんので、DTS以外の音声を選んでください。
- 音声言語の設定は、DVDセットアップメニューでも行うことができます。(→83ページ)

再生中に字幕言語を切り換える

字幕言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます。

1 再生中に「SUB.T」にタッチする

タッチするたびに字幕言語が切り換わります。

-  ボタンでも操作できます。
- この機能は、字幕が複数収録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある  マークの数字が字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- 字幕言語の設定は、DVDセットアップメニューでも行うことができます。(→82ページ)

再生中にアングルを切り換える

アングルが複数収録されているディスクの場合、再生中にアングルを切り換えることができます。

アングル切り換えができる場面について

本機では、複数のアングルが収録されている場面を再生すると、画面左下にマルチアングルマーク () を表示して知らせます。マルチアングルマーク表示のON/OFFは、DVDセットアップメニューで行います。詳しくは「マルチアングルマークの表示／非表示を設定する」(→85ページ) をご覧ください。

1 再生中に「ANGLE」にタッチする

タッチするたびにアングルが切り換わります。

- この機能は、アングルが複数収録されている場合だけ有効です。
- ディスクのパッケージにある  マークの数字がアングルの収録数です。

お気に入りの場面を記憶させる(ブックマーク)

お気に入りの場面を本機に記憶させて、次に再生するとき記憶させた場面から再生することができます。

本機に記憶できる場面の数について

本機に記憶させることができる場面の数は、1枚のDVDにつき1場面です。

- 5枚を超えたときは、一番古いDVDの記憶が消されて、新しいDVDが記憶されます。

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

1 再生中に ボタンを押す

 が表示され、 ボタンを押した場面を記憶します。次にそのDVDを再生すると、記憶させた場面から再生が始まります。

記憶させたDVDの再生中に、 ボタンを長く押すと(約2秒)、 が表示され、記憶が消去されます。

再生を一時中断するときは

再生を一時中断して、DVDを取り出すときに、本機に中断した場面を記憶させることができます。(この機能で記憶できるのは、1枚だけです。)

1 再生中にイジェクトボタンを長く押し(約2秒)、DVDを取り出す

 が表示され、再生を中断したときの場面を記憶すると同時にDVDが出てきます。次にそのDVDを再生すると、記憶させた場面から再生が始まります。

記憶させたDVDの再生中に、イジェクトボタンを押してDVDを取り出すと、 が表示され、記憶が消去されます。

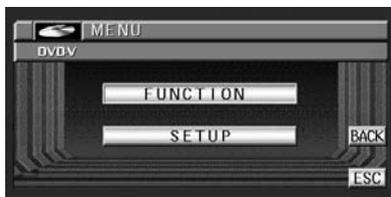
いろいろな再生をする

リピートやサーチなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・「ESC」にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・「BACK」にタッチするか、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、以下の選択項目があります。

- 「TITLE」： 現在再生中のタイトルを繰り返す
- 「CHAPTER」： 現在再生中のチャプターを繰り返す
- 「DISC」： 再生中のディスク全体を繰り返す

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「REPEAT」の順にタッチする

リピート範囲のタッチキー（「TITLE」「CHAPTER」「DISC」）が表示されます。

2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



選んだリピート範囲で、繰り返し再生します。

- ・リピート機能の情報は、**[DISP]** ボタンを押すと表示されます。（「DISC」を選んだ場合、リピート機能の情報は表示されません。）
- ・リピート再生中に、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート再生は解除されます。
- ・「DVD A. PLAY」（→90ページ）をONに設定していると、リピート範囲の切り換えはできません。

再生を一時停止（ポーズ）する (PAUSE)

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

見たい場所をさがす(SEARCH)

見たい場所のチャプターや時間を指定して、その場所から再生します。

「TITLE」： タイトルサーチ
「CHAPTER」： チャプターサーチ
「TIME」： 再生時間によるサーチ
(タイムサーチ)

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「SEARCH」の順にタッチする

サーチ方法のタッチキー（「TITLE」「CHAPTER」「TIME」）が表示されます。

2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする



3 「0」～「9」にタッチして、ナンバーまたは時間を入力する



数字キーの使いかた

3を選ぶとき	「3」にタッチする
10を選ぶとき	「1」と「0」にタッチする
23を選ぶとき	「2」と「3」にタッチする
入力を取り消すとき	「C」にタッチする

時間の入力のしかた（例）

21分43秒を入力するとき	「2」・「1」・「4」・「3」の順にタッチする
1時間11分（71分00秒）を入力するとき	「7」・「1」・「0」・「0」の順にタッチする

- ・ ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・ 無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、入力を取り消される場合があります。
- ・ 停止中は、チャプターサーチやタイムサーチは行えません。

4 「ENTER」にタッチする

指定した場所から再生されます。

音声の出力方法を切り換える（L/R SELECT）

音声の出力方法を選択することができます。

LPCM音声時のみ操作することができます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



2 「L/R SELECT」にタッチする

音声出力設定のタッチキー（「L+R」「LEFT」「RIGHT」）が表示されます。

3 希望の音声出力設定のタッチキーにタッチする



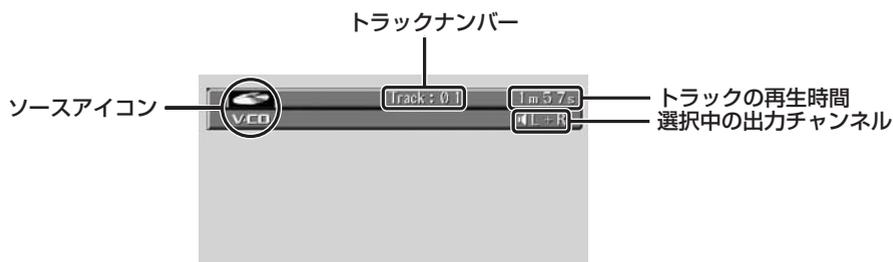
選んだ設定が黄色く点灯します。

ビデオCD

ビデオCDを見る

基本的なビデオCD画面の見かた

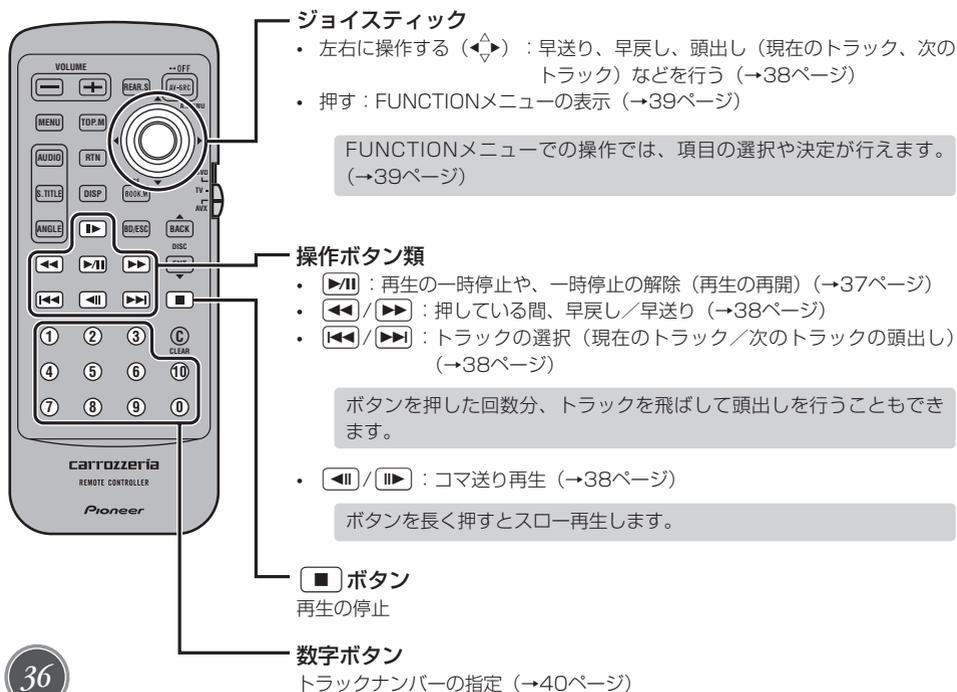
ビデオCDを見るときの画面には、以下のような情報が表示されます。
情報プレートは、DISP (DISP) ボタンを押すと表示されます。



基本的なリモコンの操作方法

ビデオCDの操作は、タッチキーとリモコンのAVXモードで行います。

PBCメニューやダイレクトサーチで数字ボタンを使うときは、DVDモードにします。



停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、ビデオCDの映像を見られます。走行中は安全のため、ビデオCDの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

ビデオCDのPBC (プレイバックコントロール)メニューを数字ボタンで操作するときは、「DVD」モードにしてください。

ディスク挿入口にディスクを挿入したり、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

PBC (プレイバックコントロール) 再生について

PBC機能付きディスクの再生中は、情報プレートに「PBC ON」が表示されます。

PBC再生は解除できません。

内蔵プレーヤー (VideoCD) に切り換える

1 AVソース (AV-SRC) ボタンを押して内蔵プレーヤー (VideoCD) にする

ソースを切り換えると、情報プレートが、約8秒間表示されます。

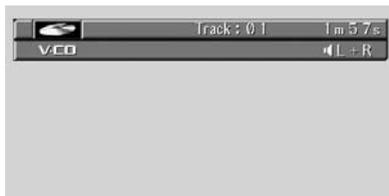
- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- ビデオCDディスクによっては、操作を受け付けない部分があります。そのような場合は、⊘ (禁止マーク) が表示されます。
- PBC機能付きディスクでは、最初にPBCメニューが表示されるものがあります。その場合は、PBCメニューから操作を行います。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→101ページ)をご覧ください。

ビデオCD情報の切り換え

ビデオCD再生中は、情報プレートにトラックナンバーや再生時間などの情報が表示されます。

情報プレートは、「DISP」ボタンを押すと表示されます。

約8秒間操作しなかった場合、情報プレートは消えます。



PBC機能付きディスクの再生中は、「PBC ON」が表示され、トラックナンバーや再生時間は表示されません。

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

「→」にタッチすると、次のタッチキー表示に切り換わります。

再生を停止する

1 「■」にタッチする

一時停止する

1 「▶/||」にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度「▶/||」にタッチします。

コマ送り／スロー再生する

コマ送り再生

1 「II▶」にタッチする

タッチするたびに映像がコマ送りされます。
「▶III」にタッチすると、通常再生に戻ります。

スロー再生

1 再生中に ▶▶ が表示されるまで 「II▶」にタッチし続ける

映像がスロー再生されます。

スロー再生中にさらに「◀◀II」/「II▶▶」にタッチすると、スロー再生の速度を4段階（1/16 ← → 1/8 ↔ 1/4 ↔ 1/2）で切り換えることができます。

「▶III」にタッチすると、通常再生に戻ります。

- コマ送り／スロー再生中は、音声を聞くことはできません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、コマ送り／スロー再生ができません場合があります。
- ディスクによっては、コマ送り／スロー再生中の映像が乱れる場合があります。
- コマ戻しと戻り方向のスロー再生はできません。

早戻し／早送りする

1 「◀◀」/「▶▶」にタッチする

タッチしている間、早戻し（◀◀）／早送り（▶▶）ができます。

ピッと音がするまで長く（約5秒）タッチし続けると、早戻し／早送りのままになります。

「▶III」にタッチすると、通常再生に戻ります。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。

トラックの選択（頭出し）をする

1 「◀◀」/「▶▶」にタッチする

「◀◀」にタッチすると、現在再生中のトラックの頭出しができて、「▶▶」にタッチすると、次のトラックの頭出しができます。またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分のトラックを飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分のトラックを飛ばして頭出しを行うこともできます。

PBCメニューを操作する

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

1 PBC再生中に **[RTN]** ボタンを押す

ディスクのPBCメニューが表示されます。

2 数字ボタンを押して、メニューを選ぶ

選択したメニューから再生されます。

メニュー画面が2ページ以上ある場合、**[◀◀]** / **[▶▶]** ボタンを押して、表示を切り換えます。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

音声の出力方法を切り換える

1 再生中に **[AUDIO]** ボタンを押す

押すたびに以下のように切り換わります。

ステレオ (L+R) → モノ左 (L) → モノ右 (R)

[DISP] を押して情報プレートを表示すると、切り換えた内容を確認することができます。

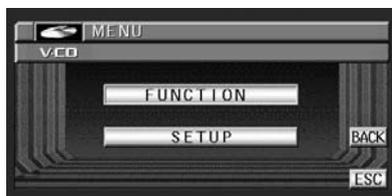
いろいろな再生をする

リピートやサーチなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

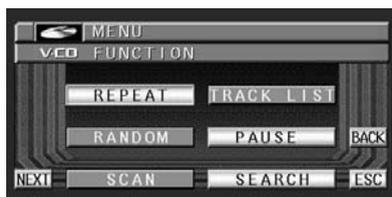
メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- 「ESC」にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、以下の選択項目があります。

「TRACK」：現在再生中のトラックを繰り返す

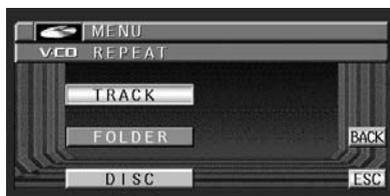
「DISC」：再生中のディスク全体を繰り返す

PBC機能付きディスクの再生中は、リピート範囲の切り換えはできません。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「REPEAT」の順にタッチする

リピート範囲のタッチキー（「DISC」「TRACK」）が表示されます。

2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



選んだリピート範囲で、繰り返し再生します。

- リピート機能の情報は、**[DISP]** ボタンを押すと表示されます。（「DISC」を選んだ場合、リピート機能の情報は表示されません。）
- リピート再生中に、早戻し／早送りの操作を行った場合、リピート再生は解除されます。

再生を一時停止（ポーズ）する (PAUSE)

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

見たい場所をさがす (SEARCH)

見たい（聞きたい）場所のトラックや時間を指定して、その場所から再生します。

「TRACK」：トラックサーチ
「TIME」：再生時間によるサーチ
(タイムサーチ)

PBC機能付きディスクの再生中は、トラックサーチやタイムサーチはできません。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「SEARCH」の順にタッチする

サーチ方法のタッチキー（「TRACK」「TIME」）が表示されます。

2 希望のサーチ方法のタッチキーにタッチする



3 「0」～「9」にタッチして、ナンバー または時間を入力する



数字キーの使いかた

3を選ぶとき	「3」にタッチする
10を選ぶとき	「1」と「0」にタッチする
23を選ぶとき	「2」と「3」にタッチする
入力を取り消すとき	「C」にタッチする

時間の入力のしかた (例)

21分43秒を入力するとき	「2」・「1」・「4」・「3」の順にタッチする
1時間11分(71分00秒)を入力するとき	「7」・「1」・「0」・「0」の順にタッチする

- ・ ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・ 無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、⊘ (禁止マーク) が表示され、入力を取り消される場合があります。
- ・ 再生停止中には、タイムサーチはできません。

4 「ENTER」にタッチする

指定した場所から再生されます。

音声の出力方法を切り換える (L/R SELECT)

音声の出力方法を選択することができます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、 「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



2 「L/R SELECT」にタッチする

音声出力設定のタッチキー (「L+R」「LEFT」「RIGHT」) が表示されます。

3 希望の音声出力設定のタッチキーに タッチする



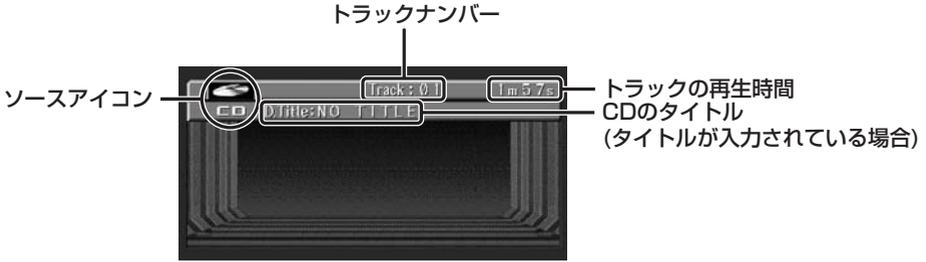
選んだ設定が黄色く点灯します。

CD

CDを聞く

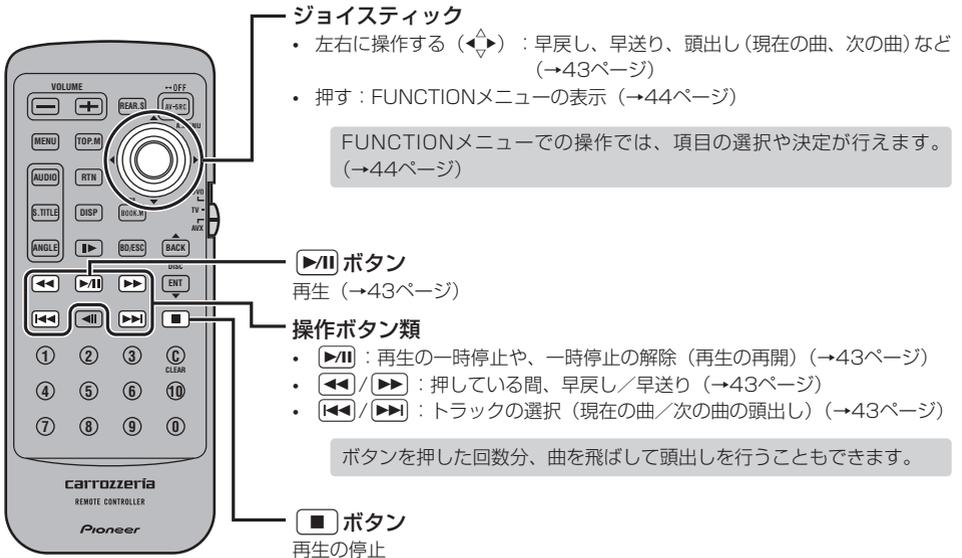
基本的なCD画面の見かた

CDを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



基本的なリモコンの操作方法

CDの操作は、タッチキーとリモコンのAVXモードで行います。



ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

内蔵プレーヤー (CD) に切り換える

1 AVソース (AV-SRC) ボタンを押して内蔵プレーヤー (CD) にする

ソースを切り換えると、情報プレートが表示されます。

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→101ページ)をご覧ください。

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

「→」にタッチすると、次のタッチキー表示に切り換わります。

再生を停止する

1 「■」にタッチする

一時停止する

1 「▶/||」にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度「▶/||」にタッチします。

早戻し／早送りする

1 「◀◀」／「▶▶」にタッチする

タッチしている間、早戻し (◀◀) / 早送り (▶▶) ができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し / 早送りができます。

トラックの選択 (頭出し) をする

1 「◀◀」／「▶▶」にタッチする

「◀◀」にタッチすると、現在再生中の曲の頭出しができ、「▶▶」にタッチすると、次の曲の頭出しができます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分の曲を飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることもできます。

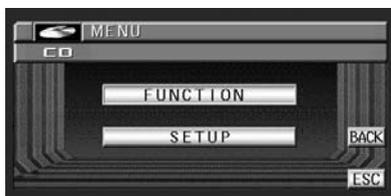
いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

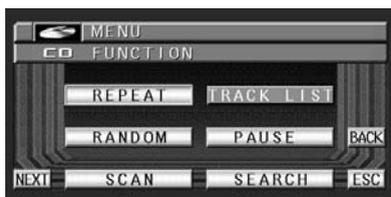
メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・「ESC」にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・「BACK」にタッチするか、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、以下の選択項目があります。

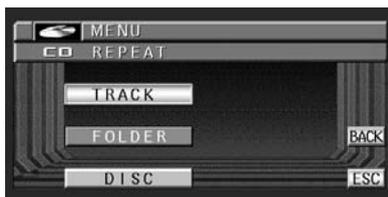
「TRACK」： 現在再生中の曲を繰り返す

「DISC」： 再生中のディスク全体を繰り返す

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「REPEAT」の順にタッチする

リピート範囲のタッチキー（「TRACK」「DISC」）が表示されます。

2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



選んだリピート範囲で、繰り返し再生します。

リピート再生中に、早戻し／早送りの操作を行った場合、リピート再生は解除されます。

ランダム再生をする (RANDOM)

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「RANDOM」の順にタッチする

ランダム機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

再生を一時停止（ポーズ）する（PAUSE）

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

スキャン再生する（SCAN）

曲の始めの部分（約10秒間）だけを次々に再生します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「SCAN」の順にタッチする

スキャン機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

3 聞きたい曲が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」にタッチする

スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

聞きたい曲をさがす (SEARCH)

聞きたい曲の番号を指定して、その曲を再生します。

「TRACK」：トラックサーチ

1 「A.MENU」、 「FUNCTION」、 「SEARCH」の順にタッチする

サーチ方法のタッチキー（「TRACK」）が表示されます。

2 「TRACK」にタッチする



3 「0」～「9」にタッチして、ナンバーを入力する



数字キーの使いかた

3を選ぶとき 「3」にタッチする

10を選ぶとき 「1」と「0」にタッチする

23を選ぶとき 「2」と「3」にタッチする

入力を取り消すとき「C」にタッチする

- ・ ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・ 無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、入力を取り消される場合があります。

4 「ENTER」にタッチする

指定した場所から再生されます。

リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

「CD TEXT」再生中に、トラック (曲名) のリストを表示して、聞きたい曲を選択することができます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「TRACK LIST」の順にタッチする

トラック名のリストが表示されます。

2 聞きたい曲名にタッチする



選んだ曲の再生が始まります。リストは一度に6トラックを表示します。

「NEXT」にタッチすると、次の6トラックに表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6トラックに表示が切り換わります。

タイトルを入力する

CDにタイトルを入力することができます。入力したタイトルは本機に記憶され、ディスクを挿入するたびに表示されます。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- 内蔵プレーヤーのCDタイトルは、48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



2 「TITLE EDIT」にタッチする

タイトル入力画面が表示されます。



3 「ABC」にタッチして、入力する文字種を切り換える

タッチするたびに、以下のように切り換わります。

アルファベットの大文字 (A~Z) → アルファベットの小文字 (a~z)

- 「123」にタッチすると、数字と記号 (0~9、! " # など) に切り換えることができます。
- ジョイスティックを押すことでも、アルファベットの大文字 (A~Z) と、アルファベットの小文字 (a~z) を切り換えることができます。
- ジョイスティックを長く押す (約2秒) たびに、アルファベットと、数字と記号 (0~9、! " # など) が切り換わります。

4 「▲」 / 「▼」にタッチして、入力する文字や記号を選択する



ジョイスティックを上下に倒して操作することもできます。

5 「◀」 / 「▶」にタッチして、入力する位置を移動する

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。

6 入力が終わったら、「OK」にタッチする

入力したタイトルが記憶されます。

「▶」にタッチして、カーソルを改行マーク (↓) まで移動させることで、入力したタイトルを記憶させることもできます。

7 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

「CD TEXT」の情報表示

「CD TEXT」とは

CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。



タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。

タイトル表示を切り換える

ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。一度に19文字まで表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

1 「CD TEXT」再生中に、「DISP」にタッチする

タッチするたびに以下のように切り換わります。

ディスクタイトル (D.Title) → ディスクアーティスト名 (D.Artist) → トラックタイトル (T.Title) → トラックアーティスト名 (T.Artist)

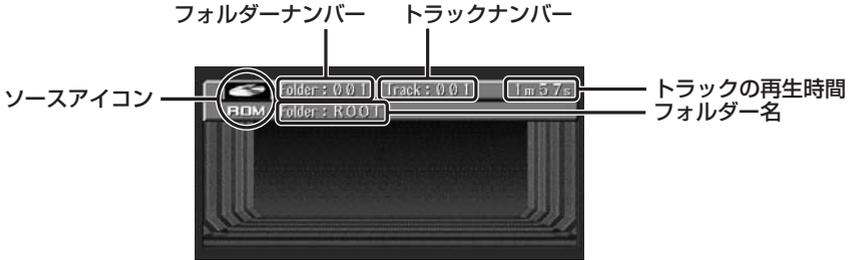
- トラックアーティスト名（歌手名）などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO ARTIST」などが表示されます。
- 「DISP」に長くタッチすると（約2秒）、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

WMA/MP3

WMA/MP3を聞く

基本的なWMA/MP3画面の見かた

WMA/MP3を聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



基本的なリモコンの操作方法

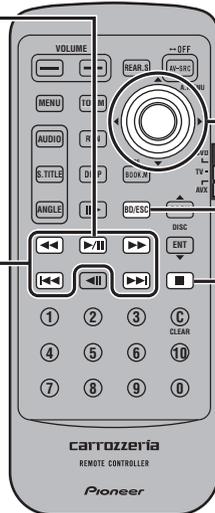
WMA/MP3の操作は、タッチキーとリモコンのAVXモードで行います。

▶|| ボタン
再生 (→51ページ)

操作ボタン類

- ▶|| : 再生の一時停止や、一時停止の解除 (再生の再開) (→51ページ)
- ◀◀ / ▶▶ : 押している間、早戻し/早送り (→52ページ)
- ◀◀ / ▶▶ : トラックの選択 (現在の曲/次の曲の頭出し) (→52ページ)

ボタンを押した回数分、曲を飛ばして頭出しを行うことができます。



ジョイスティック

- 左右に操作する (◀▶) : 早戻し、早送り、頭出し (現在のトラック、次のトラック) など (→52ページ)
- 上下に操作する (◀▶) : フォルダの選択 (→52ページ)
- 押す: FUNCTIONメニューの表示 (→52ページ)

FUNCTIONメニューでの操作では、項目の選択や決定が行えます。(→52ページ)

BD/ESC ボタン

再生パートの切り換え (CD-DAとWMA/MP3混在ディスク再生時)

■ ボタン

再生の停止

CD-ROM、CD-R/RWに記録したWMA/MP3ファイルを再生することができます。ディスク挿入口にディスクを挿入するか、他のソースから内蔵プレーヤーに切り換えた場合に、自動的に再生が始まります。

内蔵プレーヤー (WMA/MP3) に切り換える

1 AVソース (AV-SRC) ボタンを押して内蔵プレーヤー (WMA/MP3) にする

ソースを切り換えると、情報プレートが表示されます。

- ディスク情報の読み込みなど、準備動作中には「FORMAT READ」が表示され、操作はできません。準備動作が終了するまでお待ちください。
- 本機で使用できるディスクに関しては、付録「再生できるディスクの種類」(→101ページ)をご覧ください。
- WMA/MP3ファイルと音楽データが混在したディスクを再生する場合は、「DA-ROM」にタッチするか、**[DISC]** ボタンを押すと、WMA/MP3ファイルと音楽データを切り換えて再生できます。WMA/MP3ファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は最初の曲から始まります。

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

「→」にタッチすると、次のタッチキー表示に切り換わります。

WMA/MP3のタイトルを表示させる

WMA/MP3ファイルに記録させた曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報を表示させることができます。一度に19文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

タイトル表示について

本機の文字表示は、英数字のみに対応しています。

1 **[DISP]** ボタンを押す

押すたびに、以下のように切り換わります。

フォルダー名 (Folder) → ファイル名 (File)
→ 曲名 (T.Title) → 歌手名 (Artist) → アルバム名 (Album) → ビットレート (BitRate)

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- VBR (可変ビットレート) で記録されたMP3ファイルを再生している場合、「VBR」と表示されます。
- VBR (可変ビットレート) で記録されたWMAファイルを再生している場合、平均ビットレートが表示されます。
- 曲名 (T.Title) などが収録されていないCD-ROMで表示を切り換えると「NO TITLE」などが表示されます。
- **[DISP]** ボタンを長く押し (約2秒)、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

再生を停止する

1 「■」にタッチする

一時停止する

1 「▶/||」にタッチする

一時停止を解除する場合は、もう一度「▶/||」にタッチします。

早戻し／早送りする

1 「◀◀」 / 「▶▶」 にタッチする

タッチしている間、早戻し (◀◀) / 早送り (▶▶) ができます。

- ・ ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し／早送りができます。
- ・ VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルで早戻し／早送りすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

トラックの選択 (頭出し) をする

1 「◀◀」 / 「▶▶」 にタッチする

「◀◀」にタッチすると、現在再生中の曲の頭出しができ、「▶▶」にタッチすると、次の曲の頭出しができます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分の曲を飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることもできます。

フォルダーを切り換える

1 「▲」 / 「▼」 にタッチする

フォルダーの番号順に切り換えることができます。

- ・ ジョイスティックを上下に倒して操作することもできます。
- ・ [BD/ESC] ボタンを長く押すと (2秒以上)、フォルダー001 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー001 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

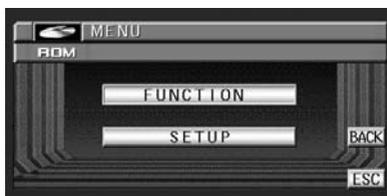
いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」 にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」 にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- ・ 「ESC」にタッチするか、[BD/ESC] ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・ 「BACK」にタッチするか、[BACK] ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・ FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、以下の選択項目があります。

- 「TRACK」： 現在再生中の曲を繰り返す
 「FOLDER」： 現在再生中のフォルダー内を繰り返す
 「DISC」： 再生中のディスク全体を繰り返す

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「REPEAT」の順にタッチする

リピート範囲のタッチキー（「TRACK」「FOLDER」「DISC」）が表示されます。

2 希望のリピート範囲のタッチキーにタッチする



選んだリピート範囲で、繰り返し再生します。

- 「FOLDER」を選択した場合、サブフォルダー内の曲は再生されません。
- トラックリピートのときに、早戻し/早送りの操作を行うと、リピート範囲が「FOLDER」になります。
- WMA/MP3ファイルと音楽データが混在したディスクでは、「DISC」を選択しても、WMA/MP3ファイルまたは音楽データのうち選択した側のみを再生します。

ランダム再生をする (RANDOM)

ディスクやフォルダー内の曲を順不同（ランダム）に再生します。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する

選択したリピート範囲内でランダム再生が行われます。

2 「BACK」にタッチする

3 「RANDOM」にタッチする

ランダム機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

4 「ON」にタッチする



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

- ランダム再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。
- 「FOLDER」を選択した場合、サブフォルダー内の曲はランダム再生されません。
- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、リピート範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

再生を一時停止（ポーズ）する（PAUSE）

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

スキャン再生する（SCAN）

今聞いているフォルダーの曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの1曲目の始めの部分だけを徐々に聞くこともできます。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する（→53ページ）

聞きたい曲をさがすとき
（トラックスキャン再生）

リピート範囲をフォルダーリピートに切り換えます。再生中のフォルダーの全曲を約10秒ずつ再生することができます。（サブフォルダー内の曲はスキャン再生されません。）

聞きたいフォルダーをさがすとき
（フォルダースキャン再生）

リピート範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

2 「BACK」にタッチする

3 「SCAN」にタッチする

スキャン機能のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

4 「ON」にタッチする



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

5 聞きたい曲（フォルダー）が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」にタッチする

- ・スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻るとスキャン再生は解除されます。
- ・トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、リピート範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

聞きたい曲をさがす (SEARCH)

聞きたい曲の番号を指定して、その曲を再生します。

「TRACK」：トラックサーチ

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「SEARCH」の順にタッチする

サーチ方法のタッチキー（「TRACK」）が表示されます。

2 「TRACK」にタッチする



3 「0」～「9」にタッチして、ナンバーを入力する



数字キーの使いかた

3を選ぶとき	「3」にタッチする
10を選ぶとき	「1」と「0」にタッチする
23を選ぶとき	「2」と「3」にタッチする
入力を取り消すとき	「C」にタッチする

- ・ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- ・無効の数字が入力された場合や再生位置によっては、⊘（禁止マーク）が表示され、入力が取り消される場合があります。

4 「ENTER」にタッチする

指定した場所から再生されます。

曲名で選んで再生する

曲名の一覧（トラックリスト）から、聞きたい曲を選んで再生することができます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「FL&TR LIST」の順にタッチする

フォルダー名と曲名のリストが表示されます。



リストは一度に6つのフォルダー名／曲名を表示します。

フォルダー名（)にタッチすると、選択したフォルダー内の曲名をリスト表示します。

「NEXT」にタッチすると、次のフォルダー名／曲名のリストに切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前のフォルダー名／曲名のリストに戻ります。

「」を選択すると、1つ上のフォルダーに移動します。

2 聞きたい曲 (♪) にタッチする

選んだ曲が再生されます。

テレビ (SOURCE)

組み合わせるメインユニットについて

本機をSOURCEモード (S) で使用する場合、テレビは組み合わせたメインユニットから操作します。(一部の機能は、付属のリモコンでも操作できます。)

「MEH-P077」と組み合わせた場合

本書では、メインユニットとして「MEH-P077」を例にテレビの操作説明を行っています。

「MEH-P077」以外のメインユニットと組み合わせた場合

FUNCTIONボタンでファンクションモードを切り換えて操作するメインユニットと組み合わせた場合

「メインユニットのボタン名称」を参照して、「MEH-P077」と対応しているボタンで操作してください。

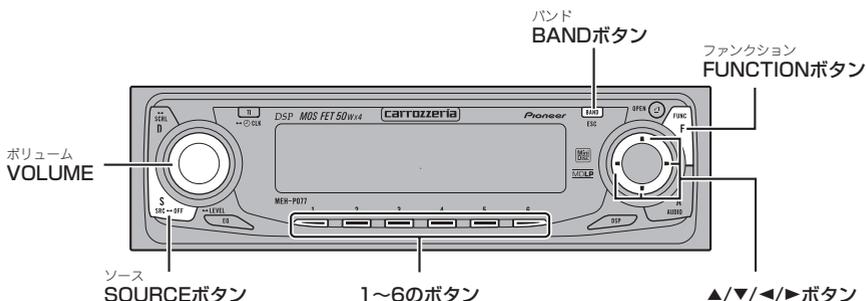
例： MEH-P055 DVH-P077 DEH-P088 DEH-P077
 DEH-P055 FH-P077MD FH-P055MD

セレクションキー／ロータリーコマンドー／ロータリーセレクターなどで操作するメインユニットと組み合わせた場合

メインユニットの取扱説明書にテレビの操作説明が記載されていますので、そちらをご覧ください。

例： FH-P099MD FH-P009MD MEH-P919 DEH-P919
 DEH-P099 DEH-P7 DEX-P01 RS-D7XII

メインユニットのボタン名称



テレビを見る

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、テレビの映像を見られます。走行中は安全のため、テレビの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

テレビ (TV) に切り換える

1 SOURCEボタンを押して、テレビにする

ソースを切り換えると、情報プレートが、約8秒間表示されます。

バンドを切り換える

本機はTV1、TV2と2つのバンドを持っています。

1 BANDボタンを押す

押すたびに、TV1→TV2と切り換わります。

チャンネルを選んで、テレビを見る

選局は、◀/▶ボタンの操作によるマニュアル選局と、▲/▼ボタンの操作によるプリセットチャンネル選局とがあります。

マニュアル選局で選ぶ

1 ◀/▶ボタンを押す

チャンネルが切り換わります。

- ピッと音がするまでボタンを押すと、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度ボタンを押します。
- 1～6のボタンを長く押すと (約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(手動では、プリセットチャンネル7～12に登録することはできません。)

プリセットチャンネルから選ぶ

プリセットチャンネルは、あらかじめ登録されたチャンネルです。

1 ▲/▼ボタンを押す

プリセットチャンネルが切り換わります。

- 1～6のボタンを押して、プリセットチャンネル1～6を直接選ぶこともできます。
- 1～6のボタンを長く押すと (約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(手動では、プリセットチャンネル7～12に登録することはできません。)

いろいろな操作

受信状態の良いチャンネルの自動選局や2カ国語放送の音声切り換えなどの操作は、モードを切り換えて操作します。

FUNCTIONモードを切り換える

1 FUNCTIONボタンを押して、ファンクションモードを切り換える

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSSMモード



主音声／副音声切り換えモード



BSSMモードに戻る

ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に、1～12の記憶番号に記憶させます。

1 BANDボタンを押して、記憶させたいバンドを選ぶ

2 FUNCTIONボタンを押して、BSSMモードにする

3 ▲ボタンを押す



BSSMが始まります。

BSSM中は、画面に「BSSM」が点滅します。BSSMが終了すると、1の記憶番号に記憶したチャンネルを受信します。

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

2カ国語放送の音声を切り換える

2カ国語放送（音声多重放送）を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

1 FUNCTIONボタンを押して、主音声／副音声切り換えモードにする

現在の音声の設定が表示されます。

2 ◀または▶ボタンを押す



ボタンを押すごとに、以下のように切り換わります。

Main（主音声）→Sub（副音声）→Main+Sub（主音声+副音声）

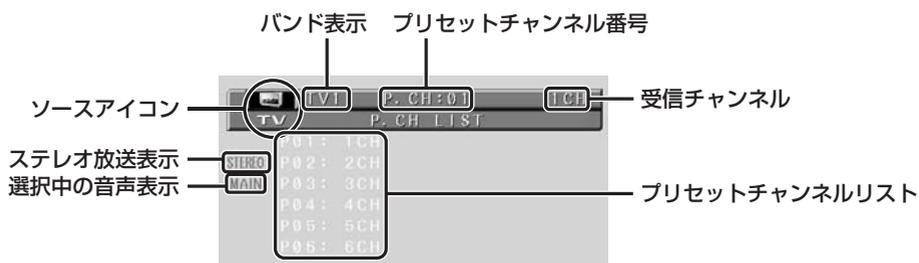
- 洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。
- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語（例：英語）で放送しています。（逆の場合もあります。）

テレビ (MASTER)

テレビを見る

基本的なテレビ画面の見かた

テレビを見るときの画面には、以下のような情報が表示されます。
情報プレートは、DISP (DISP) ボタンを押すと表示されます。



基本的なリモコンの操作方法

テレビの操作は、タッチキーとリモコンのAVXモードで行います。



ジョイスティック

- ・ 上下に操作する (◀▶) : プリセットチャンネルの選局 (→61ページ)
- ・ 左右に操作する (◀▶) : マニュアル選局 (→61ページ)

左右に長く操作するとSEEKモードになります。

- ・ 押す : FUNCTIONメニューの表示 (→62ページ)

FUNCTIONメニューでの操作では、項目の選択や決定が行えます。
(→62ページ)

バンド (BD/ESC) ボタン

TV1→TV2→TV1・・・とバンドの切り換え

数字ボタン①～⑥

プリセットチャンネルのダイレクト選局 (→61ページ)

停車中で、パーキングブレーキがかかっているときに、テレビの映像を見られます。走行中は安全のため、テレビの映像は表示されません。(音声を聞くことはできます。)

テレビ (TV) に切り換える

1 AVソース () ボタンを押して、テレビにする

ソースを切り換えると、情報プレートとプリセットチャンネルリストが、約8秒間表示されます。

情報プレートとプリセットチャンネルリストは、ソース画面でジョイスティックを操作したときも表示されます。

タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

バンドを切り換える

本機はTV1、TV2と2つのバンドを持っています。

1 「BAND」 にタッチする

タッチするたびに、TV1→TV2と切り換わります。

チャンネルを選んで、テレビを見る

選局は、マニュアル選局とプリセットチャンネル選局とがあります。

マニュアル選局で選ぶ

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

チャンネルが切り換わります。

- ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。
- ピッと音がするまで長くタッチすると、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度「◀」 / 「▶」 にタッチします。
- 数字ボタン①～⑥を長く押しと(約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(プリセットチャンネル7～12への登録は、プリセットチャンネルリスト (→62ページ) で行います。)

プリセットチャンネルから選ぶ

プリセットチャンネルは、あらかじめ登録されたチャンネル (→62ページ) で、バンドごとにそれぞれ12局まで登録できます。

1 「▲」 / 「▼」 にタッチして、リストから見たいチャンネルを選ぶ

プリセットチャンネルリストは、プリセットチャンネル1～6と7～12の6チャンネルずつ表示されます。

- ジョイスティックを上下に倒して操作することもできます。
- リモコンの数字ボタン①～⑥を押して、プリセットチャンネル1～6を直接選ぶこともできます。
- 数字ボタン①～⑥を長く押しと(約2秒)、選択中のバンドのプリセットチャンネル1～6に受信中のチャンネルを登録することができます。(プリセットチャンネル7～12への登録は、プリセットチャンネルリスト (→62ページ) で行います。)

プリセットチャンネルリストへ登録する (P. CH LIST)

バンドごとに、それぞれ12局まで登録することができます。お好みのチャンネルをお好みの順番で登録することができます。

1 「BAND」にタッチして、記憶させたいバンドを選ぶ

プリセットチャンネルリスト表示は、「DISP」にタッチすることでON/OFFします。

2 「◀」/「▶」にタッチして、登録したいチャンネルを選局する

ピッと音がするまで長くタッチすると、SEEKモードになります。SEEKモードとは、受信状態の良い放送局で自動的に止まる機能です。SEEKを止めるときは、もう一度「◀」/「▶」にタッチします。

3 P01～P12の1つに長く（約2秒）タッチする



選んだタッチキーが黄色く点灯し、登録が完了します。

「NEXT」にタッチすると、次の6つの放送局に表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6つの放送局に表示が切り換わります。

- 続けて登録することができます。
- タッチキーを消すには、「ESC」にタッチしてください。
- P01～P12の1つにタッチすると、登録したチャンネルを呼び出すことができます。

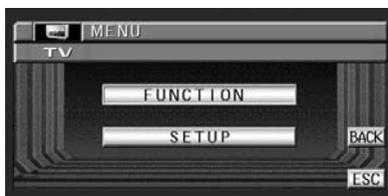
いろいろな操作

受信状態の良いチャンネルの自動選局や2カ国語放送の音声切り換えなどの操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- 「ESC」にタッチするか、**BD/ESC** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、**BACK** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶させる (BSSM)

受信状態の良いチャンネルを、自動的にチャンネルの小さい順に、1～12の記憶番号に記憶させます。

1 「BAND」 にタッチして、記憶させたいバンドを選ぶ

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「BSSM」の順にタッチする

BSSM機能の選択項目 (「ON」「OFF」) が表示されます。

3 「ON」 にタッチする



BSSMが始まります。
BSSM中は、画面に「BSSM」が点滅します。
BSSMが終了すると、「OFF」が点灯した状態に戻ります。

- 受信状態の良いチャンネルが12局より少ないときは、以前に記憶したチャンネルが残ることがあります。
- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー) の略です。

2カ国語放送の音声を切り換える (MPX)

2カ国語放送 (音声多重放送) を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「MPX」の順にタッチする

現在の音声の設定が表示されます。

2 「◀▶」 にタッチする



タッチするたびに、設定が以下のように切り換わります。

MAIN (主音声) → SUB (副音声) → MAIN + SUB (主音声 + 副音声)

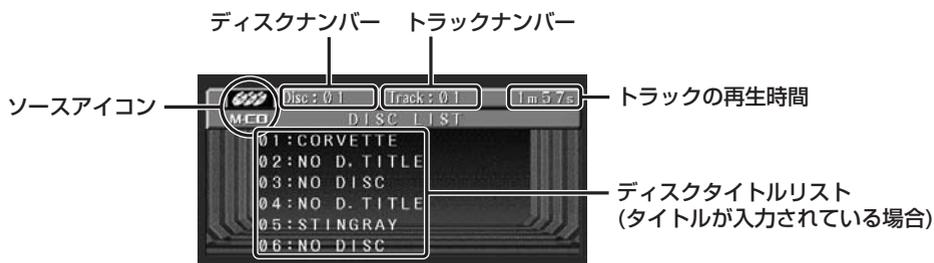
- 洋画やニュースの2カ国語放送のように、2種類の音声を持った放送のことを音声多重放送といいます。
- 2カ国語放送の場合は、一般に主音声を日本語、副音声を外国語 (例: 英語) で放送しています。(逆の場合もあります。)

マルチCD (MASTER)

マルチCDでCDを聞く

基本的なマルチCD画面の見かた

マルチCDを聞くときの画面には、以下のような情報が表示されます。



基本的なリモコンの操作方法

マルチCDの操作は、タッチキーとリモコンのAVXモードで行います。



ジョイスティック

- 左右に操作する (◀▶) :
早戻し、早送り、頭出し (現在のトラック、次のトラック) など (→65ページ)
- 上下に操作する (↕) :
ディスクの選択 (→65ページ)
- 押す: FUNCTIONメニューの表示 (→66ページ)

FUNCTIONメニューでの操作では、項目の選択や決定が行えます。(→66ページ)

数字ボタン①～⑥

ディスクの指定 (→65ページ)

マルチCD (M-CD) に切り換える

1 AVソース (**AV-SRC**) ボタンを押して、マルチCDプレーヤー (M-CD) にする

情報プレートとディスクリストが表示されます。



タッチキーを表示する

1 画面にタッチする

ディスクを選ぶ

1 01~12の1つにタッチする



選んだタッチキーが黄色く点灯します。

「NEXT」にタッチすると、次の6つのディスクタイトルが表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6つのディスクタイトルが表示が切り換わります。

タッチキーを消すには、「ESC」にタッチしてください。

ディスクを切り換える

1 「▲」 / 「▼」 にタッチして、聞きたいディスクを選択する

ディスクリストは1~6枚目と7~12枚目の6枚ずつ表示されます。

- ジョイスティックを上下に倒して操作することもできます。
- 数字ボタンの①~⑥でディスクを選択することもできます。7~12枚目のディスクを選択する場合は、数字ボタンの①~⑥を2秒以上押します。
- マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGAZINE」が表示されます。

早戻し / 早送りする

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

タッチしている間、早戻し / 早送りができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に操作している間、早戻し / 早送りができます。

トラックの選択 (頭出し) をする

1 「◀」 / 「▶」 にタッチする

「◀」にタッチすると、現在再生中の曲の頭出しができ、「▶」にタッチすると、次の曲の頭出しができます。

またタッチキーに数回タッチすると、タッチした回数分の曲を飛ばして頭出しを行うことができます。

ジョイスティックを左右に倒して操作することもできます。左右に短く操作すると、頭出しができます。倒した回数分の曲を飛ばして頭出しをすることもできます。

いろいろな再生をする

リピートやランダムなど、いろいろな再生の操作は、FUNCTIONメニューを表示して行います。

FUNCTIONメニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「FUNCTION」にタッチする

FUNCTIONメニューが表示されます。



- 「ESC」にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- FUNCTIONメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リピート再生する (REPEAT)

リピート再生には、マルチCD全体を繰り返す「M-CD」と現在再生中の曲を繰り返す「TRACK」、ディスク全体を繰り返す「DISC」があります。

1 「A.MENU」、 「FUNCTION」、 「REPEAT」の順にタッチする

2 「◀▶」にタッチして、リピート範囲を選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

「M-CD」 → 「TRACK」 → 「DISC」

ランダム再生をする (RANDOM)

曲を順不同 (ランダム) に再生します。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する

選択したリピート範囲内でランダム再生が行われます。

2 「BACK」にタッチする

3 「RANDOM」にタッチする

ランダム機能のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

4 「ON」にタッチする



選択した範囲内で、ランダム再生が始まります。

ランダム再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

- ランダム再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。
- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、リピート範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

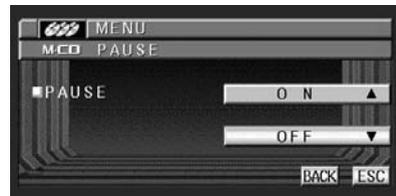
再生を一時停止 (ポーズ) する (PAUSE)

再生を一時停止します。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「PAUSE」の順にタッチする

ポーズ機能のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

2 「ON」にタッチする



再生が一時停止します。

一時停止を解除し、再び再生を始めるときは、「OFF」にタッチします。

スキャン再生する (SCAN)

今聞いているディスクの、曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのディスクの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する (→66ページ)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のディスクの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

聞きたいディスクをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

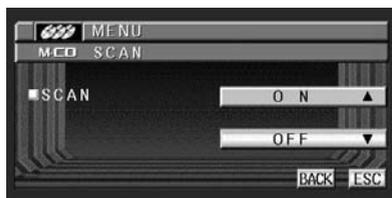
再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

2 「BACK」にタッチする

3 「SCAN」にタッチする

スキャン機能のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

4 「ON」にタッチする



スキャン再生が始まります。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にソース画面に戻ります。

5 聞きたい曲 (ディスク) が再生されたら、「SCAN」にして、「OFF」にタッチする

- スキャン再生を始めた曲 (またはディスク) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりトラックスキャン再生します。
- スキャン再生中の情報は、ソース画面に常に表示されます。

マルチCD (MASTER)

CDの音質を調整する (COMP)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりします。

COMP/DBE機能付きのマルチCDプレーヤーを接続したときに操作できます。

COMPについて

COMPとは、Compressionの略で、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞き取りにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasisの略で車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「COMP」の順にタッチする

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作ができません。

2 「◀▶」にタッチして、設定する項目を選択する



タッチするたびに以下のように切り換わります。

「COMP OFF」 → 「COMP 1」 → 「COMP 2」
→ 「COMP OFF」 → 「DBE 1」 → 「DBE 2」
→ 「COMP OFF」

COMP、DBEともに、1より2のほうが効果が大きくなります。

リストからトラック名で選んで再生する (TRACK LIST)

「CD TEXT」再生中に、トラック (曲名) のリストを表示して、聞きたい曲を選択することができます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときに操作できます。

1 「A.MENU」、「FUNCTION」、「TRACK LIST」の順にタッチする

トラック名のリストが表示されます。

2 聞きたい曲名にタッチする



選んだ曲の再生が始まります。リストは一度に6トラックを表示します。

「NEXT」にタッチすると、次の6トラックに表示が切り換わります。

「PREV」にタッチすると、前の6トラックに表示が切り換わります。

タイトルを入力する (TITLE EDIT)

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルを表示することができます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、画面に表示させる機能です。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、ITS (ITSリストを作る) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいディスクを再生する

2 「A.MENU」、 「FUNCTION」、 「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



3 「TITLE EDIT」にタッチする

タイトル入力画面が表示されます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD「CDX-P670」などで「CD TEXT」を再生しているときは、「TITLE EDIT」を選択できません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

以降はCDの「タイトルを入力する」(→47ページ)の手順でタイトルを入力します。

ディスクタイトル表示

CDに入力したタイトルを表示することができます。

1 「DISP」にタッチする

タッチするたびに以下のように切り換わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST) → ディスクタイトル (D.Title)

「CD TEXT」の情報表示

「CD TEXT」とは

- CDのタイトルや歌手名などの文字情報が収録されているCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは「CD TEXT」ディスクです。下記マークの付いていない「CD TEXT」ディスクもあります。



タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。

タイトル表示を切り換える

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」再生中に、ディスクタイトルやトラックタイトルなどの文字情報を表示させることができます。一度に19文字まで表示させることができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

1 「CD TEXT」再生中に、「DISP」にタッチする

タッチするたびに以下のように切り換わります。

ディスクタイトルリスト (DISC LIST) → ディスクタイトル (D.Title) → ディスクアーティストネーム (D.Artist) → トラックタイトル (T.Title) → トラックアーティストネーム (T.Artist)

- トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO ARTIST」などが表示されます。
- 「DISP」に長くタッチすると (約2秒)、隠れているタイトルをスクロール表示できます。

ITSを使う

あらかじめ聞きたい曲をITSで記憶させると、記憶させた曲だけを再生できます。

ITSについて

- ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (「ITSリストから再生する」→72ページ) 機能です。
- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル (「タイトルを入力する」と合わせてCD100枚分の記憶ができます。)
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消えて、新しいCDが記憶されます。

ITSリストを作る (ITS MEMORY)

1 ITSに記憶したい曲の入ったディスクを再生する

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。



3 「ITS MEMORY」にタッチする

4 「◀」 / 「▶」にタッチして、記憶したい曲を選択する



5 「MEMORY」にタッチして、曲を記憶させる

選択した曲がリストに入ります。

6 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

ITSリストから再生する (ITS PLAY)

選択した範囲から、ITS記憶させた曲(→71ページ)だけを再生します。

1 「REPEAT」にして、リピート範囲を選択する(→66ページ)

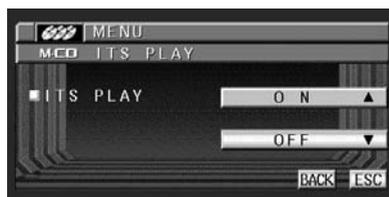
2 「BACK」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

3 「ITS PLAY」にタッチする

ITS機能のタッチキー(「ON」「OFF」)が表示されます。

4 「ON」にタッチする



選択した範囲内でITS記憶された曲が再生されます。

ITS再生を止めるときは、「OFF」にタッチします。

手順1で選択した再生範囲内に記憶させた曲がない場合は、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

ITSリストから1曲ずつ削除する

1 ITSリストから削除したい曲の入ったディスクをITS再生する

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

3 「ITS MEMORY」にタッチする

4 「◀」/「▶」にタッチして、削除したい曲を選択する



5 「CLEAR」にタッチして、曲を削除する

選択した曲がリストから削除されます。

6 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合、「ITS EMPTY」が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

ITSリストからディスクごとに削除する

1 ITS再生をOFFにして、ITSリストから削除したいディスクを再生する

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NEXT」の順にタッチする

FUNCTIONメニューの2ページ目が表示されます。

3 「ITS MEMORY」にタッチする

4 「CLEAR」にタッチして、曲を削除する

選択したディスク内でITS記憶させた曲が全てリストから削除されます。

5 「ESC」にタッチして、ソース画面に戻る

各種の設定

各種の設定をする

本機には、ソースOFFのときに操作できる初期設定「INITIAL」とソースのON/OFFに関わらず操作できる基本設定「SETUP」があります。

初期設定

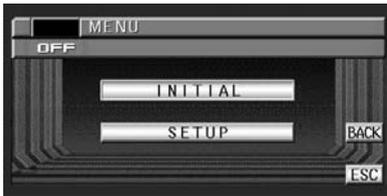
初期設定メニューを表示する

1 AVソース (AV-SRC) ボタンを長く (約1秒) 押して、ソースをOFFにする

情報プレートに「OFF」が表示されます。

2 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

3 「INITIAL」にタッチする

初期設定メニューが表示されます。



- 「ESC」にタッチするか、**BD/ESC** ボタンを押すと、ソースOFFに戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、**BACK** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

外部機器の音声を聞く (AUX)

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

本機をMASTERモード (M) で使用している場合のみ操作することができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 初期設定メニューを表示する

2 「AUX」にタッチする

設定のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

3 「ON」にタッチする



外部機器が「AUX」ソースとして設定されま

す。
AUXをOFFにするには、「OFF」にタッチし

4 AVソース (AV-SRC) ボタンを押して、AUXにする

外部機器の名称を入力する

外部機器の名称を入力することができます。名称は10文字まで入力できます。

1 AVソース (AV-SRC) ボタンを押して、AUXにする

2 「A.MENU」、「FUNCTION」、「NAME EDIT」の順にタッチする

名称の入力画面が表示されます。



以降は、CDの「タイトルを入力する」(→47ページ)の手順で、名称を入力します。

ディスクの自動再生を設定する (DVD D. AUTO)

本機にディスクが挿入されたとき、自動的にソースを内蔵プレーヤーに切り換えて、再生を開始するかしないかを設定します。

1 初期設定メニューを表示する (→74ページ)

2 「DVD D. AUTO」にタッチする

設定のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

3 「ON」にタッチする



本機にディスクが挿入されたとき、自動再生するように設定されます。

自動再生をOFFにするには、「OFF」にタッチします。

リモコンコードを設定する (RMT CODE)

付属のリモコンで本機と他のパイオニア製DVDプレーヤーを別々に操作するために、本機のリモコンコードを設定します。

- ・リモコンコードの設定を変更した場合、リモコンの左側面にあるリモコンコード切り換えスイッチも同じ設定に切り換えてください。(→96ページ)

- ・本機をSOURCEモード（S）で使用している場合のみ操作することができます。
- ・HDDナビゲーションオートサーバー「AVIC-H900」と組み合わせたときは、「CODE A」を選択します。
- ・マルチDVDプレーヤー「XDV-P9II」と組み合わせたときは、「CODE B」を選択します。また、「XDV-P9II」は「STAND ALONE」モードでお使いください。

1 初期設定メニューを表示する (→74ページ)

2 「RMT CODE」にタッチする

設定のタッチキー（「CODE A」「CODE B」）が表示されます。

3 希望のリモコンコードのタッチキーにタッチする



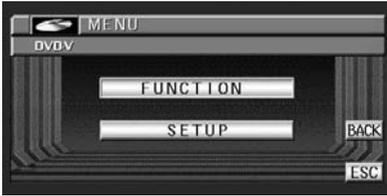
選択した項目が黄色く点灯します。

基本設定

基本設定メニューを表示する

1 「A.MENU」にタッチする

メインメニューが表示されます。



タッチキーが表示されていない場合は、画面にタッチしてタッチキーを表示してください。

2 「SETUP」にタッチする

基本設定メニューが表示されます。



- ・「ESC」にタッチするか、**[BD/ESC]** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- ・「BACK」にタッチするか、**[BACK]** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- ・基本設定メニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

ビデオ入力1を設定する (AV INPUT1)

ビデオやDVDメインユニットなどの映像機器を本機に接続した場合、機器に合った設定に切り換えます。

1 「A.MENU」、「SETUP」、「AV INPUT1」の順にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

2 「◀」/「▶」にタッチして、項目を選択する



項目	内容
OFF	ビデオ入力に何も接続しない場合
VIDEO	ビデオ機器を接続した場合
DVD	DVDメインユニットと接続した場合

- ・「VIDEO」に設定すると、ソースを「AV-1」にしたときにビデオ機器の映像を見ることができます。
- ・「DVD」に設定すると、ソースを「DVD」にしたときにDVDメインユニットの映像を見ることができます。(AV-1には、切り換わらなくなります。)
- ・「DVD」は、本機をSOURCEモード(S)で使用している場合のみ選択することができます。

ビデオ入力2を設定する (AV INPUT2)

ビデオやバックカメラを本機に接続した場合、機器に合った設定に切り換えます。

1 「A.MENU」、「SETUP」、「AV INPUT2」の順にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

2 「◀」 / 「▶」にタッチして、項目を選択する



項目	内容
OFF	ビデオ入力に何も接続しない場合
VIDEO	ビデオ機器を接続した場合
B. CAMERA	バックカメラを接続した場合

「VIDEO」に設定すると、ソースを「AV-2」にしたときにビデオ機器の映像を見ることができます。

バックカメラの接続を設定する (B. CAMERA)

別売のバックカメラ「ND-BC1」を接続し、車のシフトレバーをR（リバース）に入れたとき、バックカメラの映像をモニターに映すことができます。

市販のバックカメラをお使いになる場合、左右反転出力機能のあるタイプをおすすめします。

1 「A.MENU」、「SETUP」、「AV INPUT2」の順にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

2 「▶」にタッチして、「B. CAMERA」を選択する



車のシフトレバーをR（リバース）の位置にしたときに、バックカメラの映像がモニターに表示されるように設定されます。

3 「▼」にタッチして、「POLARITY」を選択する

4 「◀」 / 「▶」 にタッチして、極性を選択する



項目	内容
BATTERY	車のシフトレバーをR（リバース）に入れた時にバック信号の電圧が「HIGH」になる場合
GND	車のシフトレバーをR（リバース）に入れた時にバック信号の電圧が「LOW」になる場合

- バックカメラの映像に正しく切り換わるように、必ずバック信号入力線を接続してください。
- 通常走行時、バックカメラ映像が表示されたり、シフトレバーをR（リバース）に入れた場合、バックカメラ映像が表示されない場合は、極性設定を確認してください。

バックカメラの映像を解除する

シフトレバーをR（リバース）の位置にし、バックカメラの映像を表示させているときに、バックカメラの映像を解除することができます。

1 V.ADJボタンを押す

リアモニターの表示を設定する（REAR DISP）

フロントモニターにナビゲーションの地図を表示しているときに、リアモニターにもナビゲーションの地図を表示するかどうかを設定することができます。

1 「A.MENU」、 「SETUP」、 「REAR DISP」の順にタッチする

現在設定されている項目が表示されます。

2 「◀」 / 「▶」 にタッチして、項目を選択する



項目	内容
SOURCE	選ばれているソースの映像
NAVI	ナビゲーションの地図

「SOURCE」を選択した場合に、音声ソース（CDなど）を選択すると、リアモニターには何も表示されません。

モニターの自動開閉／セットバックを設定する (FLAP SET)

車のエンジンスイッチをACC (またはON) やOFFにしたとき、モニターが自動的に開閉するかどうかを設定します。

また、立ち上がったモニターを後ろに下げることできます。

1 「A.MENU」、「SETUP」、「FLAP SET」の順にタッチする

設定の選択項目 (「SET BACK」「AUTO FLAP」) が表示されます。

2 「▲」にタッチする



「ON」にすると同時にモニターが動きます。

セットバックを止めるには、「▼」にタッチします。

3 「◀」 / 「▶」にタッチして、項目を選択する

項目	内容
AUTO	自動開閉
MANUAL	手動開閉

シフトレバーなどにモニターが当たってしまう場合は、「MANUAL」に設定し、OPEN/CLOSE ボタンを押して、モニターを開閉します。

時計を設定する (CLOCK ADJ)

時計を合わせることができます。

1 「A.MENU」、「SETUP」、「CLOCK ADJ」の順にタッチする

時刻設定画面が表示されます。

2 「OFF」にタッチする

タッチキーが「ON」に変わり、時計表示がONになります。

時計表示をOFFにするには、「ON」にタッチします。

3 「▲」 / 「▼」 / 「◀」 / 「▶」にタッチして、時刻を設定する



「◀」 / 「▶」 : 時と分を選択するとき

「▲」 / 「▼」 : 時刻を調節するとき

「JUST」にタッチすると、時報に合わせることができます。

DVDの機能設定

DVDの機能を設定する

音声や字幕、視聴制限など内蔵プレーヤーの設定を行います。

DVDセットアップメニューを表示する

1 ソースを内蔵プレーヤー (DVD) にして、「■」にタッチする

「MENU」キーが「SETUP」に変わります。

2 再生停止中に、「SETUP」にタッチする

DVDセットアップメニューが表示されます。



- 再生停止中に、リモコンの **(MENU)** を押すことでも、DVDセットアップメニューを表示することもできます。
- 「ESC」にタッチするか、**(BD/ESC)** ボタンを押すと、ソース画面に戻ります。
- 「BACK」にタッチするか、**(BACK)** ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- DVDセットアップメニュー表示後、約30秒間操作をしなかった場合は、ソース画面に戻ります。

字幕言語を設定する

字幕として優先したい言語を設定します。

1 DVDセットアップメニューを表示する

2 「LANGUAGE」にタッチする

言語設定メニューが表示されます。

3 「SUB. T LANG」にタッチする

言語リストが表示されます。



「NEXT」にタッチすると、言語リストの2ページ目に切り換わります。言語リストの1ページ目に戻るには、「PREV」にタッチします。

4 希望の言語にタッチする

選択した言語が黄色く点灯します。

選択した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。

「OTHERS」を選択した場合

「OTHERS」を選択すると、言語コード入力画面が表示されます。「言語コード表」(→111ページ)をご覧ください。言語コードを入力してください。

1 「0」～「9」にタッチして、言語コードを入力する

2 「ENTER」にタッチする

入力した言語コードの言語が設定されます。

- 数字ボタンで言語コードを入力することもできます。
- ジョイスティックを操作して、言語コードを入力することもできます。
- 「C」にタッチするか、クリア (C) ボタンを押すと、入力した数字を消すことができます。

音声言語を設定する

音声として優先したい言語を設定します。

1 DVDセットアップメニューを表示する

2 「LANGUAGE」にタッチする

言語設定メニューが表示されます。

3 「AUDIO LANG」にタッチする

言語リストが表示されます。



「NEXT」にタッチすると、言語リストの2ページ目に切り換わります。言語リストの1ページ目に戻るには、「PREV」にタッチします。

4 希望の言語にタッチする

選択した言語が黄色く点灯します。

- 選択した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が出力されます。
- 言語の選択で「OTHERS」を選ぶと、言語コードの入力による言語の選択ができます。操作については、「OTHERS」を選択した場合」をご覧ください。

メニュー言語を設定する

メニュー表示として優先したい言語を設定します。

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

2 「LANGUAGE」にタッチする

言語設定メニューが表示されます。

3 「MENU LANG」にタッチする

言語リストが表示されます。



「NEXT」にタッチすると、言語リストの2ページ目に切り換わります。言語リストの1ページ目に戻るには、「PREV」にタッチします。

4 希望の言語にタッチする

選択した言語が黄色く点灯します。

- 選択した言語がディスクに収録されていないときは、ディスクで指定されている言語が表示されます。
- 言語の選択で「OTHERS」を選ぶと、言語コードの入力による言語の選択ができます。操作については、「OTHERS」を選択した場合 (→83ページ) をご覧ください。

アシスト字幕を設定する

アシスト字幕の表示のオン/オフを設定します。

アシスト字幕について

アシスト字幕とは、耳の不自由な人のために場面の状況を説明する字幕です。ただしアシスト字幕は、ディスクに収録されている場合のみ表示することができます。

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

2 「LANGUAGE」、「NEXT」の順にタッチする

言語設定メニューの2ページ目が表示されます。

3 「A SUB TITL」にタッチする

設定のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

4 「ON」にタッチする



アシスト字幕の表示がONになります。

アシスト字幕表示を消すには、「OFF」にタッチします。

マルチアングルマークの表示／非表示を設定する

マルチアングルで収録されたディスクで、アングル切り換えができる場面を再生している間、マルチアングルマークを表示することができます。

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

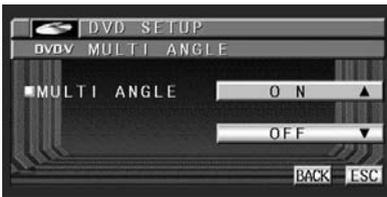
2 「VISUAL」にタッチする

映像設定メニューが表示されます。

3 「M. ANGLE」にタッチする

設定のタッチキー (「ON」「OFF」) が表示されます。

4 「ON」にタッチする



マルチアングルマークの表示がONになります。

マルチアングルマークの表示を止めるには、「OFF」にタッチします。

TVアスペクトを設定する

画面の表示比率を設定します。画面比率の違う別売のモニターなどを接続したときや、ディスクに収録された映像 (画像) の比率に合わせて設定します。

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

2 「VISUAL」にタッチする

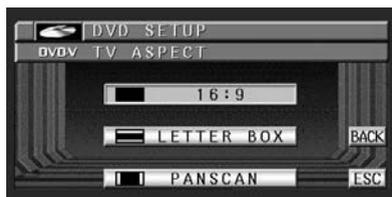
映像設定メニューが表示されます。

3 「TV ASPECT」にタッチする

設定のタッチキー (「16:9」「LETTER BOX」「PANSCAN」) が表示されます。

項目	内容
16:9	ワイドモニター使用時に設定します。
LETTER BOX	ノーマルモニター (4:3) 使用時に設定します。16:9で収録された映像 (画像) は、レターボックス (上下に黒い帯のある画面) になります。
PANSCAN	ノーマルモニター (4:3) 使用時に設定します。16:9で収録された映像 (画像) は、パンスキャン (左右の切れた画面) になります。

4 希望のTVアスペクトのタッチキーにタッチする



選択した項目が黄色く点灯します。

- ノーマルモニターをお使いのときは、「LETTER BOX」または「PANSKAN」のどちらかに設定してください。「16:9」に設定すると、映像が不自然になることがあります。
- パンスキャン指定されていないディスクを再生したときは、「PANSKAN」に設定しても「LETTER BOX」での再生となります。ディスクのパッケージなどで「16:9 LB」マーク（→103ページ）を確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

視聴制限を設定する (パレンタルロック)

ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

レベル	視聴制限の内容
LEVEL 8	すべてのディスクを再生します
LEVEL 7~2	成人向けのディスクの再生を制限します（子供向けや一般向けのディスクを再生します）
LEVEL 1	子供向けディスクのみ再生します

- 初めに視聴制限を設定するときは、まず始めに暗証番号を設定します。視聴制限は、暗証番号が無いと設定できません。
- 視聴制限レベルは、ディスクに記録されています。ディスクのパッケージなどでご確認ください。なお、視聴制限レベルが記録されていないディスクでは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- ディスクによっては、視聴制限された場面のみ飛ばして再生するものもあります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。

暗証番号とレベルの設定

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

2 「VISUAL」にタッチする

映像設定メニューが表示されます。

3 「PARENTAL」にタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。



4 「0」～「9」にタッチして、4桁の暗証番号を入力する



- 数字ボタンで入力することもできます。
- ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

5 「ENTER」にタッチする

暗証番号が設定され、レベル設定画面が表示されます。

6 「1」～「8」にタッチして、レベルを設定する



視聴制限レベルが設定されます。

レベルを変更する

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

2 「VISUAL」にタッチする

映像設定メニューが表示されます。

3 「PARENTAL」にタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。



4 暗証番号を入力後、「ENTER」にタッチする

レベル設定画面が表示されます。



- 数字ボタンで入力することもできます。
- ジョイスティックを操作して、数字を入力することもできます。
- 間違った暗証番号を入力すると、⊘（禁止マーク）が表示されます。クリア（Ⓒ）ボタンを押してから、正しい暗証番号を入力し直してください。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、「暗証番号を忘れたときは」（下記）をご覧ください。

5 「0」～「8」にタッチして、レベルを変更する

変更した視聴制限レベルが設定されます。

視聴制限されたディスクを再生するとき

視聴制限されたディスクを再生しようとしたとき、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合、暗証番号を入力しないと再生が始まりません。

暗証番号を忘れたときは

「暗証番号とレベルの設定」の手順4で、「C」に10回タッチします。登録した暗証番号が解除されるので、新しい暗証番号を入力します。（クリア（Ⓒ）ボタンを10回押しでも解除できます。）

デジタル出力を設定する (DIGTL OUT)

組み合わせる機器に合わせて、デジタル出力を設定します。デジタル接続していない場合、変更する必要はありません。

- 誤った設定をするとノイズが発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。組み合わせる機器の説明書もあわせてご覧になり、正しく設定してください。

1 DVDセットアップメニューを表示する（→82ページ）

2 「AUDIO」にタッチする

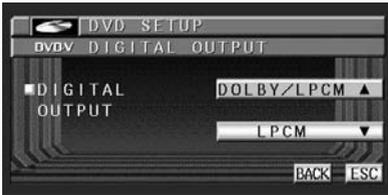
音声設定メニューが表示されます。

3 「DIGTL OUT」にタッチする

設定のタッチキー（「DOLBY/LPCM」「LPCM」）が表示されます。

項目	内容
DOLBY/LPCM	ドルビーデジタルに対応したアンプまたはデコーダーを使用時に設定します。（ドルビーデジタル信号をそのまま出力します。）（初期設定）
LPCM	ドルビーデジタルに対応していないアンプまたはデコーダーを使用時に設定します。（ドルビーデジタル信号をリアPCMに変換して出力します。）

4 希望のデジタル出力のタッチキーにタッチする



- DTS音声は、リニアPCM出力できません。「LPCM」に設定すると、DTS音声は出力されません。
- 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせた場合、「DOLBY/LPCM」に設定してください。
- CD/チューナーメインユニット「DEX-PO1」と組み合わせた場合、「LPCM」に設定してください。

音声出力（デジタル／アナログ）を設定する（AUDIO OUT）

組み合わせる機器に合わせて、リニアPCM音声の出力周波数を設定します。（デジタル／アナログ共通）

- 誤った設定をすると音声が出られなくなります。組み合わせる機器の説明書もあわせてご覧になり、正しく設定してください。

1 DVDセットアップメニューを表示する（→82ページ）

2 「AUDIO」にタッチする

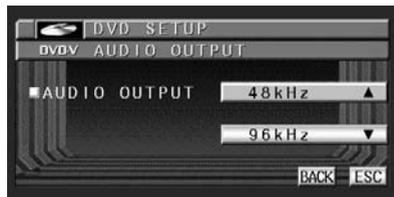
音声設定メニューが表示されます。

3 「AUDIO OUT」にタッチする

設定のタッチキー（「48 kHz」「96 kHz」）が表示されます。

項目	内容
48 kHz	デジタル接続時に設定します。（音声のサンプリング周波数に関わらず48 kHzで出力します。96 kHzの場合、48 kHzに変換して出力します。）（初期設定）
96 kHz	アナログ接続時に設定します。（音声のサンプリング周波数のまま出力します。96 kHzの場合、そのままの高音質を楽しむことができます。）

4 希望の音声出力のタッチキーにタッチする



- 96 kHzで収録されているディスクでは、「96 kHz」に設定すると、デジタル出力から音声が出られなくなります。（ただし、CSS（Content Scrambling System）コピーガード信号が入っていない場合、96 kHzの音声デジタル出力されます。）
- 5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせた場合、「48 kHz」に設定してください。96 kHzに設定すると、96 kHzで収録されているディスクの音声出力されません。

DVD自動再生を設定する (DVD A. PLAY)

本機にメニュー付きのDVDが挿入された場合、メニューを約5秒間表示後、一番若いタイトルから自動的に再生を始めます。

- ご使用になるディスクによっては、期待通りの動作ができない場合があります。このような場合には、DVDオートプレイをOFFにして再生してください。

1 DVDセットアップメニューを表示する (→82ページ)

2 「NEXT」にタッチする

DVDセットアップメニューの2ページ目が表示されます。

3 「OTHERS」、 「DVD A. PLAY」の順にタッチする

設定のタッチキー（「ON」「OFF」）が表示されます。

4 「ON」にタッチする



本機にメニュー付きのDVDが挿入されたとき、メニュー表示後、自動再生するように設定されます。

DVDオートプレイをOFFにするには、「OFF」にタッチします。

DVDオートプレイをONにしている場合、DVDのリピート再生機能は使えません。

その他の機能

エンタテインメントを表示させる

音楽などを聞いているときに、モニターの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、モニターにいろいろな画像を表示する機能です。

- 本機にディスクがセットされていないときは、内蔵プレーヤーの映像（DVD）には切り換わりません。（CDやWMA/MP3再生時に切り換えると、ブルーバックになります。）
- 「AV INPUT1」や「AV INPUT2」で「VIDEO」が選択されていないときは、ビデオの映像（AV-1、AV-2）には切り換わりません。（→77、78ページ）
- 本機にナビゲーションユニットが接続されていないときは、ナビゲーションユニットの映像（NAVI）には切り換わりません。
- タッチキーやリスト表示中は、イルカの動画は表示されません。
- ナビゲーションユニットのソース（DVDやミュージックサーバーなど）を選んでいる場合、エンタテインメント表示に切り換えることはできません。

1 ENT (ENT) ボタンを押す

ボタンを押すたびに、エンタテインメントの表示は以下のように切り換わります。

SOURCEモード (S) のとき

現在のソースの映像→バックグラウンドビジュアル (DOLPHIN) →ビデオ1の映像→ビデオ2の映像→内蔵プレーヤーの映像

音声ソース (CDなど) を選んでいるときに現在のソースの映像を選ぶと、何も表示されません。

MASTERモード (M) のとき

現在のソースの映像（映像ソースのみ）→バックグラウンドピクチャー→バックグラウンドビジュアル (DOLPHIN) →ビデオ1の映像→ビデオ2の映像→内蔵プレーヤーの映像

よく使う機能を直接操作する

リモコンの **BOOK.M** ボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。

リモコンの操作モードを「AVX」にしてください。

内蔵プレーヤー、マルチCD (MASTER) のとき

1 **BOOK.M** ボタンを押す

再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。

テレビ (MASTER) のとき

1 **BOOK.M** ボタンを長く (約2秒) 押す

BSSMが始まります。

- BSSM中に **BOOK.M** ボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。

付 録

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 BACK LIGHTボタンを長く（約2秒）押す

画面が消えます。

もう一度押すと、画面を表示します。

画面が消えている状態（バックライトOFF）のときに、モニターを収納して、再度立ち上げると、画面が表示されます（バックライトON）。

ワイド画面の拡大方法を切り換える

テレビ、ビデオCDおよびDVDなどの映像は、通常の映像をワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

- 通常映像は表示比率4：3、ワイド映像は表示比率16：9です。
- ワイドモードの設定内容は、映像ごとに記憶されます。
- ナビゲーションの映像は、ワイドモードの切り換えはできません。

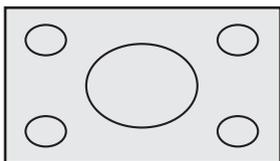
1 WIDEボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

フル（FULL）→ジャスト（JUST）→シネマ（CINEMA）→ズーム（ZOOM）→ノーマル（NORMAL）

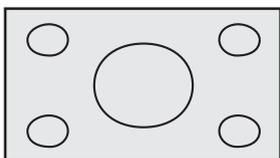
- ナビゲーションユニットを組み合わせている場合、WIDEボタンを長く（約2秒）押すごとに、ワイドモードが切り換わります。
- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の表示比率が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差がでます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイド設定は映像ソース（テレビ、ビデオ、内蔵プレーヤーなど）でのみ可能です。

ワイドモードの種類



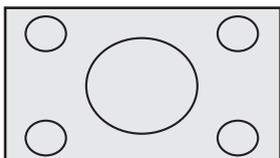
フル (FULL)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面で楽しめます。



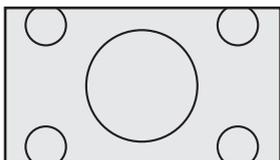
ジャスト (JUST)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



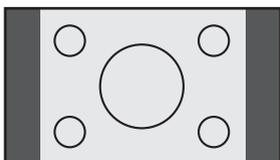
シネマ (CINEMA)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外の黒い部分に表示されるものに適しています。



ズーム (ZOOM)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



ノーマル (NORMAL)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。

画質調整

黒の濃さやコントラストなどを調節することができます。

- DVDやテレビなどで別々に設定内容を記憶します。
- 黒の濃さ (BRIGHT) と明暗 (コントラスト) は、外光センサーで周囲の明るさを感じし、明るいとき (☀) と、暗いとき (🌙) で調整内容を別々に記憶します。
- 走行中は、画質調整できないようになっています。

1 V.ADJボタンを長く押す (約2秒)

画質調整メニューが表示されます。

2 調整したい項目にタッチする

項目	内容
BRIGHT	黒の濃さ
CONTRAST	コントラスト (明暗)
COLOR	色の濃さ
HUE	色合い (赤・緑)
DIMMER	明るさ

- 「BACK-CAMERA」は、バックカメラの設定がされているときに、選択できます。(→78ページ)
- 「BACK-CAMERA」にタッチすると、バックカメラの画質調整メニューに切り換わります。ソース画面の画質調整メニューに戻るには、「SOURCE」にタッチします。

3 「◀」 / 「▶」 にタッチして、設定を調整する

BRIGHT、CONTRAST、COLOR、HUE は、+24～-24の間で調節できます。

4 「ESC」 にタッチして、画質調整メニューを解除する

- 画質調整メニュー表示後、約30秒間操作を行わなかった場合は、ソース画面に戻ります。
- オーディオソースやナビゲーションの地図の場合、COLOR、HUEは調整できません。

液晶画面の明るさを調整する

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。本機は、周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさを自動的に調整します (3点式インテリジェントディマー)。その自動的に調整される明るさを好みに合わせて、設定しておくことができます。

1 V.ADJボタンを長く押す (約2秒)

2 「DIMMER」 にタッチする

外光センサーが感知した周囲の明るさ (外光レベル) を以下のように表示します。

表示	内容
橙色の太陽 (☀)	明るいとき (昼間)
赤い太陽 (☀)	中間の明るさ (夕方)
黄色い月 (🌙)	暗いとき (夜間)

3 「◀」 / 「▶」 にタッチして、明るさを調整する

- 現在の外光レベルに設定されている画面の明るさが調整されます。
- 暗い、中間、明るい、のそれぞれの外光レベルで調整でき、別々に記憶されます。

4 「ESC」 にタッチして、画質調整メニューを解除する

画質調整メニュー表示後、約30秒間操作を行わなかった場合は、ソース画面に戻ります。

リアモニターを使うとき

リアモニターを接続すると、選んでいるソースに関わらず、後部座席でDVDやビデオCDの映像を楽しむことができます。

安全走行のために

リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができる位置には、絶対に設置しないでください。

- DVDビデオやビデオCDをリアモニターだけで見るときは、リモコンの操作モードをDVDに切り換えてください。
- **REAR.S** ボタンを押して、リアモニターに映像を表示した場合は、AVソース (**AV-SRC**) ボタンを長く押ししても (約1秒)、リアモニターの映像を消すことはできません。もう一度 **REAR.S** ボタンを押してください。

リアモニターでDVDやビデオCDを見る

1 **REAR.S** ボタンを押す

DVDやビデオCDの映像がリアモニターに表示され、リアONインジケーターが点灯します。

リアモニターからDVDやビデオCDの表示を消すには、**REAR.S** ボタンをもう一度押します。

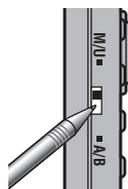
- 本機にディスクがセットされていないときは、**REAR.S** ボタンは使えません。
- パイオニア製ナビゲーションユニットと組み合わせている場合、リアモニターにナビゲーションの地図を表示することもできます。(「リアモニターの表示を設定する」→ 79ページ)

リモコンコードの設定

付属のリモコンには、コードM/U、コードAおよびコードBの3種類のリモコンコードがあります。本機を操作するために、組み合わせる製品に合わせてリモコンコードを正しく設定してください。

コード設定	設定内容
コードM/U	MASTERモード (M) で本機を操作する場合
コードA	SOURCEモード (S) でナビゲーションユニットが接続されているときに、本機のみ操作する場合
コードB	SOURCEモード (S) でマルチDVDが接続されているときに、本機のみ操作する場合

1 リモコンの左側面にある、リモコンコード切り換えスイッチを、ペン先などで切り換える



2 コードA/Bに設定したときは、リモコンの数字ボタン⑦と⑩を同時に押す

数字ボタン⑦と⑩を同時に押すごとに、コードAとコードBが順に切り換わります。(初期設定はコードAです。)



リモコンの操作モード切り換えスイッチをDVDモードに切り換えると、パイオニア製DVDプレーヤーを操作することもできます。

- マルチDVD (例: 「XDV-P9II」) を操作する場合は、コードAに切り換えてください。
- HDDナビゲーションオートサーバー (例: 「AVIC-H900」) を操作する場合は、コードBに切り換えてください。

組み合わせたDVDプレーヤーを操作する

リモコンの操作モードを「DVD」にして、リモコンコードを正しく設定すると、本機に付属のリモコンで、DVDプレーヤー（例：「XDV-P9II」）を操作することができます。DVDプレーヤーの機能や操作について詳しくは、DVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDプレーヤーの電源をON/OFFする

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

1 **REAR.S** ボタンを押す

押すたびに、組み合わせたDVDプレーヤーの電源がON/OFFされます。

ディスクを切り換える（マルチDVDの場合）

リモコンの操作モードを「DVD」にしてください。

1 **BACK** または **ENT** ボタンを押す

押すたびに、ディスクが切り換わります。

DVDをメインユニットから操作する

本機は、メインユニットからも一部の機能を操作することができます。
メインユニット（例：FH-P099MD、DEH-P099、DEX-P01など）の取扱説明書にDVDの説明が記載されている場合は、そちらをご覧ください。
メインユニットにDVDの説明がない場合は、次の「機能対応表」と「ファンクションモードの切り換え」を参照して、対応しているボタンで操作してください。

機能対応表

機能名称	ボタン名称	参照ページ
ソース切り換え	SOURCE	23ページ
チャプター／トラックを進める／戻す	◀、▶	30、38、43、52ページ
早送り／早戻し	◀、▶（押し続けている間）	30、38、43、52ページ

ファンクションモードの切り換え

■ DVDソースがあるメインユニットの場合

普段の操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 FUNCTIONボタンを押す

希望のモードになるまで、繰り返しボタンを押します。

リピートモード → ランダムモード → スキャンモード → ポーズモード

DVDやビデオCD再生時は、ランダムモードとスキャンモードには切り換わりません。

2 ▲ボタンを押す（▼ボタンでOFF）

■ DVDソースがないメインユニットの場合（DVDがエクスターナルユニットの場合）
 普段の操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

1 FUNCTIONボタンを押す

希望のモードになるまで、繰り返しボタンを押します。
 FUNC1 → FUNC2 → FUNC3 → FUNC4 → AUTO

2 ▲ボタンを押す（▼ボタンでOFF）

AUTO (A/M) は、◀/▶ボタンで操作します。

モード	▲ボタンを押す	▲ボタンを2秒以上押す
FUNC1	メインユニットの表示切り換え	—
FUNC2	一時停止	—
FUNC3	ランダム再生	—
FUNC4	リピート範囲の切り換え	—

モード	◀/▶ボタンを押す	◀/▶ボタンを2秒以上押す
AUTO (A/M)	AUTO/MANUAL切り換え	—

本機のリセット

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

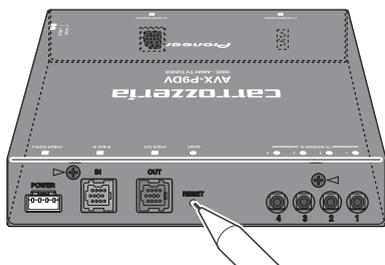
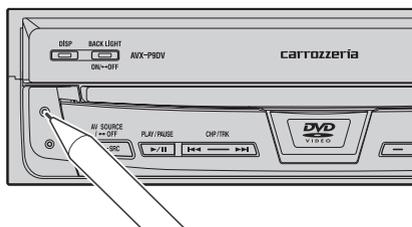
エンジンスイッチOFFでリセットボタンを押すと、DVDプレーヤーの設定内容を保持したまま本機のマイコンを初期化することができます。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 本機が正しく動作しないとき。
 - モニターが正しく表示されないとき。
- リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やテレビのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットし直してください。

- パイオニア製ナビゲーションシステムと組み合わせた場合、本機から先にリセットしてください。
- 接続が終わった後や、すべてのメモリー内容を消去し、本機を初期状態（ご購入直後の状態）に戻りたいときなどは、エンジンスイッチをONまたはACCの状態でリセットボタンを押します。（この場合、リセットボタンを押すと、約5秒後に自動的にモニターの立ち上げ/収納動作をします。動作に支障がないことを確かめてから、リセットボタンを押してください。）

1 ペン先などでリセットボタンを押す

本機のマイコンが初期状態に戻ります。



2 エンジンスイッチをONにする

エンジンスイッチがONやACCの場合、一度OFFにしてから、再度ONにしてください。

再生できるディスクの種類

- 下記マークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



ビデオCD



CD



ディスクの操作について

DVDによっては、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上、リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



ご注意

- ・DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
- ・DVDビデオディスクによっては、再生できない場合があります。
- ・DVDオーディオディスクは再生できません。
- ・DVDビデオディスクでも、リージョン番号（→113ページ）が異なるディスクは再生できません。
- ・DVD-R/DVD-RWディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたものに限って、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
- ・ビデオフォーマット（ビデオモード）で記録されたDVD-R/DVD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- ・音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- ・直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- ・CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ・本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ・ファイナライズされていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクには対応していません。
- ・CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- ・CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数を表示します。
	字幕の数を表示します。
	アングルの数を表示します。
	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種類を表示します。
	再生可能な地域番号（リージョン番号）を表示します。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

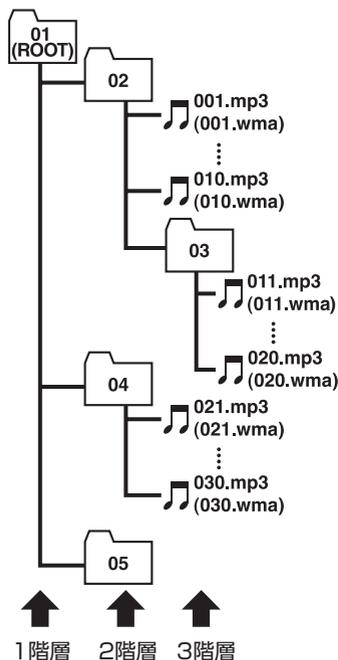
著作権について

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

WMA/MP3について

フォルダーとWMAおよびMP3ファイルについて

- WMAおよびMP3ファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機は、WMAおよびMP3ファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(→113ページ)
- 本機はマルチセッション (→113ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応していません。
- パケットライト (→112ページ) には対応していません。

- m3u (→113ページ) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma) を含めて64文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は64文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) (→113ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から64文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがないCDを、MP3/WMAファイルとしてCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。

- ・フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMAおよびMP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMAおよびMP3ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMAおよびMP3ファイルと音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・WMAおよびMP3ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせずスキップします。)
- ・8階層までのWMAおよびMP3ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ディスクに含まれるフォルダーの合計が253個まで再生可能です。

WMAとは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できるWMAファイルについて

- ・ WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子(.wma)を付けないでください。
- ・ 本機では、Windows Media Player Ver.7/7.1/8を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレート(→112ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、CBR(固定ビットレート)時は、48 kbps~320 kbps、VBR(可変ビットレート)時は、48 kbps~384 kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。
- デジタル著作権保護(DRM)で保護されたファイルを再生したときは、「TRK SKIPPED」と表示され、そのファイルの再生がスキップされます。
- ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護(DRM)で保護されている場合は、「PROTECT」と表示され、そのディスクの再生はできません。

MP3とは？

- MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(→114ページ)

再生できるMP3ファイルについて

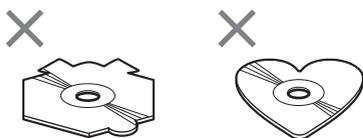
- ・ MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けないでください。

- ID3 Tag(→113ページ)のVer 1.0、Ver 1.1、Ver 2.2、Ver 2.3およびVer 2.4のアルバム名(Album)、曲名(T.Title)、アーティスト名(Artist)の表示に対応しています。なお、ID3 TagのVer 1.XとVer 2.Xが混在している場合は、Ver 2.Xが優先されます。
- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しています。(なお、再生可能なサンプリング周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート(→112ページ)が高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps~320 kbpsのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

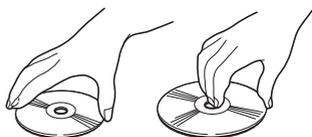
使用上の注意

取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



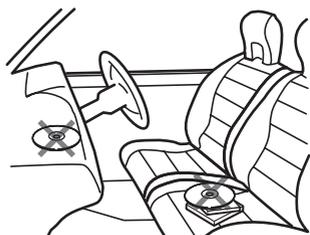
- ディスクは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



- ディスクにキズを付けしないでください。
- ディスクにシールなどを貼り付けしないでください。

保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、ディスクを保管しないでください。



- ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布でディスクの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

ディスク再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後に再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布でふいてください。

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

モニターの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

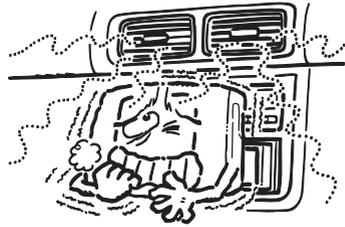
- 温度が-10度以下または+50度以上になる
ところでは、お使いにならないでください。
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、
高温になり、モニターの液晶画面が故障する
おそれがあります。できる限りモニターに直
射日光が当たらないようにしてください。ま
た、本機を使用していないときは、本体にモ
ニターを収納してください。



- モニターの液晶画面は、車内での視認性向上
のためにむき出しになっています。故障する
おそれがありますので、液晶画面を強く押さ
ないでください。
- モニターを立ち上げたときに、モニターの上
に物を置いたり、モニターの角度調節や立ち
上げ、収納を手動で行ったりしないでくださ
い。モニターに強い力が加わると故障するこ
とがあります。



- モニターを立ち上げたときに、モニターがエ
アコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エ
アコンの風がモニターに当たらないようにし
てください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、
クーラーの冷気でモニター内部に水滴がつい
て故障するおそれがあります。



- モニターの立ち上げや収納のときに、物を
はさまないように注意してください。物がは
さまると、モニターが動かなくなることがあ
ります。モニターが動かなくなった場合は、は
さまった物を取り除いてもう一度
OPEN/CLOSEボタンを押してください。



- エアバックなどの安全装置装着車の場合は、
安全装置の作動に支障のないようにご注意く
ださい。

液晶画面について

- モニター画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）ができることがあります。これは液晶モニター特有の現象で故障ではありません。
- 寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

- 蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。
- 蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

お手入れについて

- 画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布でから拭きしてください。
- 画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。
- むれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



地上デジタルテレビジョン放送について

<地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行スケジュールについて>

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

<地上デジタルテレビジョン放送開始に伴う放送チャンネル変更について>

地上デジタルテレビジョン放送開始に伴い、一部の地域では地上アナログテレビジョン放送のチャンネルが順次変更されております。当変更の詳細につきましては、総務省関連サイト等（下記）、各地域受信対策センターからの広報等をご参照願います。

<総務省関連サイト>

地上デジタルテレビジョン放送	http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html
関東総合通信局（放送部放送課）	http://www.kanto-bt.go.jp/
東海総合通信局（放送部放送課）	http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/
近畿総合通信局（放送部放送課）	http://www.ktab.go.jp/
報道資料 アナログ周波数変更の受信対策の開始について	http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html
ARIB（電波産業会）サイト	http://www.arib.or.jp/
JEITA（電子情報技術産業協会）サイト	http://home.jeita.or.jp/dha/tdb/tdb_top.htm

<地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更についてのお問い合わせ先>

対象となる各地域の受信対策センターにご確認ください（→次ページ）。

<地上アナログテレビジョン放送のチャンネル変更に伴い、発生が予想される現象>

地上アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、プリセットされたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度、お手持ちの取扱説明書に従い、プリセットの再設定をお願いいたします。

放送局名を表示する機能がある機種においては、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。また、音声操作により選局する機能がある機種においても、ディスクまたは本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

地上デジタルテレビジョン放送が開始されても、本機で受信することはできません。

アナログテレビチャンネル変更対策 各地域受信対策センター (2003年4月現在)

名称	コールセンター	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL : 0120-771797 FAX : 0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 029-835-8267	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
栃木地域受信対策センター	TEL : 0120-401293 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
群馬地域受信対策センター	TEL : 0120-357488 FAX : 0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 027-210-9381	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
埼玉地域受信対策センター	TEL : 0120-401035 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
千葉地域受信対策センター	TEL : 0120-401398 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL : 0120-401350 FAX : 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 044-829-2713	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
岐阜地域受信対策センター	TEL : 0120-124820 FAX : 0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7300	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
愛知・三重地域受信対策センター	TEL : 0120-124826 FAX : 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 052-968-7370	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL : 0120-252639 FAX : 0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 075-602-1826	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL : 0120-623522 FAX : 0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7182	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
兵庫地域受信対策センター	TEL : 0120-540700 FAX : 0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7180	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
和歌山地域受信対策センター	TEL : 0120-815108 FAX : 0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 06-6966-7184	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日
香川地域受信対策センター	TEL : 0120-112064 FAX : 0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用 : 087-851-7880	平日 9:00~21:00 土・日 9:00~18:00 祝祭日

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アババジア語 (ab)	0102
アフリカンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コルシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712
グアラニ語 (gn)	0714

言語名 (言語コード)	入カコード
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ii)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721

言語名 (言語コード)	入カコード
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
シヨナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストウ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チギリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウイ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラピュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

* 言語表記はISO639:1988 (E/F)に準拠 (1999年9月現在)

用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。ノーマルモニターは4：3ですが、ワイドモニターは16：9の比率となっており、臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

視聴制限（パレンタルロック）

成人向けの内容や暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限が記録されているものがあります。このようなディスクでは、本機の視聴制限レベルを設定することで、再生できなくなったり、過激なシーンを飛ばして再生したりすることができます。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps（bit per second）です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つこととなるため、同じ符号化方式（MP3など）での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。（MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。）

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点になります。テレビ番組などでは、数台のカメラで同時に撮影した映像のうち1つを各家庭のテレビに送っています。もし、すべてのカメラの映像が同時に送られてくようになれば、見たい視点の映像を見ることも可能になります。DVDには、同時に複数のカメラで撮影した映像をすべて収録しているものがあり、視点を自由に選ぶことができます。

マルチ音声

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を収録しているものがあります。DVDでは、音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチ字幕（サブタイトル）

映画などでおなじみの字幕です。DVDでは、字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好みの言語を選ぶことができます。

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン番号

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」です。（本体底面に表記されています。）

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDでは、48 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されているため、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSは、サラウンドシステムで、最大6チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式（名前は半角英大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字）で、各フォルダーの階層は8つ以下

レベル2：

ファイル名は、最大31文字（区切り文字、“.”と拡張子を含む）で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet：ファイル名は、最大で64文字

Romeo：ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子（.m3u）で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構)のワーキンググループ (MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略で、「エムベグ」と読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

VBR (バイビーアール)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WMA

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェッ
クしてください。

チェックしても直らな
いときは
本機をリセットしてく
ださい。(→100ページ)

それでも直らないとき
は
「保証書とアフターサー
ビス」(→121ページ)
をお読みにになり、修理
を依頼してください。

共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく 接続されていない。	正しく確実に接続されているかど うか、もう一度確認してくださ い。(「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切 れたヒューズを同じ容量のヒュー ズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコ ンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 (→100ページ)
リモコンで操作できない。 操作にあった正しい動作をしな い。	リモコンの操作モードが間違っ ている。	リモコンの操作モードを正しく切 り換えてください。 (→17ページ)
	リモコンコードが異なっている。	リモコンコード切り換えスイッ チを正しく切り換えてください。 (→96ページ)
	電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。 (→16ページ)
ディスクを再生できない	ディスクによっては、禁止してい る操作があります。	別のディスクで確認してください。
	ディスクが汚れている。	汚れをふき取ってください。 (→106ページ)
	本機で再生できない種類のディス クが入っている。	ディスクを確認してください。

共通項目（つづき）

症状	原因	処置
音が出ない。	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。（「取付説明書」参照）
	ディスクによっては、96 kHzの出力を禁止している場合があります。	出力設定を48 kHzに切り換えてください。（→89ページ）
	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
映像が出ない。	パーキングブレーキコードが接続されていない。 パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。（「取付説明書」参照）
 （禁止マーク）が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
	ディスクの構成上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けられない。	ディスク再生中にデータを読みとれなくなった。	一度、リモコンの停止（  ）ボタンを押してから、もう一度再生してください。
音や映像が飛ぶ。	本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。
画面が伸びる、アスペクトが合わない。	モニターに対しての設定が正しくない。	ご使用のモニターに合った設定にしてください。
エンジンスイッチをONまたはACCにすると、モーター音がする。	本機がディスクの有無を確認しています。	正常な動作です。
何も表示されない。	バックカメラが接続されていない。	バックカメラを接続してください。（「取付説明書」参照）
	バックカメラの設定が間違っている。	正しく設定してください。（→78ページ）

内蔵プレーヤー : DVD

症状	原因	処置
ディスクを再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください
視聴制限のメッセージが表示され、再生ができない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルを変更してください。
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。
	暗証番号を忘れてしまった。	クリア (C) ボタンを10回押して、暗証番号を解除してください。
音声 (または字幕) 言語が切り換えられない。	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
字幕が出ない。	字幕が収録されていないDVDを再生している。	字幕が収録されていないDVDでは、字幕を表示できません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
DVDセットアップメニューで選んだ音声言語、字幕言語にならない。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	DVDセットアップメニューで選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えできません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。映像が暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	本製品はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものもあります。これは、正常な動作です。

内蔵プレーヤー：ビデオCD

症状	原因	処置
PBCのメニュー画面を呼び出せない。	PBCの付いていないビデオCDを再生している。	PBCの付いていないビデオCDでは操作できません。
リピート再生、トラック/タイムサーチができない。	PBCの付いているビデオCDを再生している。	PBCの付いているビデオCDでは操作できません。

内蔵プレーヤー：CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(→106ページ)
	CDに曇りや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。(→106ページ)

テレビ

症状	原因	処置
テレビの映りが悪い。 “ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	チャンネルが合っていない。	チャンネルを正しく合わせてください。(→57、61ページ)
	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。(→57、61ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。(→57、61ページ)

5.1ch対応・DSPユニット（例：DEQ-P9）接続時

症状	原因	処置
音が出ない。	5.1ch対応・DSPユニットは、96 kHzの信号に対応していません。	出力設定を48 kHzに切り換えてください。 (→89ページ)
DVDの音だけ出ない。	光デジタルケーブルが正しく接続されていない。	光デジタルケーブルを正しく接続してください。 (「取付説明書」参照)

こんなメッセージが表示されたら

内蔵プレーヤーのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「ERROR-02」	ディスクが汚れているとき。 ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(→106ページ) ディスクを交換してください。
「ERROR-05」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	リセットボタンを押してください。(→100ページ)
「DIFFERENT REGION DISC」	リージョン番号が異なるディスクを使用しているとき。	リージョン番号「2」を含むDVDに交換してください。
「NON PLAYABLE DISC」	本機では再生できないディスクを使用しているとき。	本機で再生できるディスクに交換してください。(→101ページ)
「THERMAL PROTECTION IN MOTION」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。
「TRK SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生したとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕 様

共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

本体：5.0 A

ハイダウェイ部：3.5 A

外形寸法：

(本体取付寸法)

178 (W) × 50 (H) × 165 (D) mm

(本体ノーズ寸法)：

170 (W) × 46 (H) × 25 (D) mm

(ハイダウェイ部寸法)

172 (W) × 30 (H) × 149 (D) mm

質 量：

本体：2.2 kg (コードユニット含まず)

ハイダウェイ部：0.8 kg (コードユニット
含まず)

モニター部

画面サイズ：

7.0 インチワイドモニター

アスペクト比：

16:9

有効表示面積：

154 × 87 mm

有効画素数：

336,960 画素 (1,440 × 234)

方式：

TFTアクティブマトリクス方式

NTSC方式

使用温度範囲：

-10 ~ +50 °C

保存温度範囲：

-20 ~ +80 °C

スライド角度調整範囲：

50° ~ 110° (初期設定角度：110°)

DVDプレーヤー部

形式：

DVDビデオ、ビデオCD、CDシステム

リージョン番号：

2

使用ディスク：

DVDビデオ、ビデオCD、CD

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

44.1/48/96 kHz

量子化ビット数：

16/20/24ビット直線

周波数特性：

5~44,000 Hz (DVD、サンプリング周波
数96 kHz時)

S/N比：

97 dB (IHF-A ネットワーク)

96 dB (IHF-A ネットワーク)：CD

ダイナミックレンジ：

95 dB (1 kHz)

94 dB (1 kHz)：CD

高調波歪率：

0.008 % (1 kHz)

出力レベル：

映像

1.0 Vp-p/75 Ω

音声

1.0 V (1 kHz、0 dB)

チャンネル数：

2 (ステレオ)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7 & 8

TVチューナー部

- 受信チャンネル：
VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
- 映像信号方式：
NTSC
- 実用感度：
6 dB μ (75 Ω 、モノラル音声)
- 映像 S/N：
40 dB以上 (59 dB μ 入力、白100%)
- 映像雑音制限感度：
40 dB μ
- アンテナ入力：
4 chダイバシティ (ϕ 3.5ミニプラグ)
- アンテナケーブル長：
左：6.0 m
右：7.5 m

付属品

- リモコン : 1
- リチウム電池 (CR2025) : 1
- コードユニット : 1式
- 取付ネジ類 : 1式
- ダイバシティフィルムアンテナ : 1式
- 取扱説明書 : 1
- 取付説明書 : 1
- 安全上のご注意 : 1
- 保証書 : 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 : 1

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

索引

あ

アシスト字幕	84
アスペクト比	112
頭出し	
CD	43
DVD	30
WMA/MP3	52
ビデオCD	38
マルチCD	65
一時可倒	21
一時停止	
CD	43、45
DVD	29、34
WMA/MP3	51、54
ビデオCD	37、40
マルチCD	67
エラー表示	120
エンタテインメント	91
音声言語	31、83

か

外部機器	75
角度調節	20
画質調整	94
基本設定メニュー	77
言語コード表	111
コマ送り再生	
DVD	30
ビデオCD	38

さ

視聴制限	86、112
自動開閉	80
字幕言語	32、82
情報プレート	19
初期設定メニュー	74
スキャン再生	
CD	45
WMA/MP3	54
マルチCD	68
スロー再生	
DVD	30
ビデオCD	38
セットバック	80

た

タイトルサーチ	34
タイトル入力	
CD	47
マルチCD	70
タイムサーチ	
DVDビデオ	34
ビデオCD	40
チャプターサーチ	34
停止	
CD	43
DVD	29
WMA/MP3	51
ビデオCD	37
ディスクの自動再生	76
時計	80
トラックサーチ	
CD	46
WMA/MP3	55
ビデオCD	40
ドルビーデジタル	5、112

は

パケットライト	112
バックカメラ	78
バックライト	92
パレンタルロック	86、112
早戻し/早送り	
CD	43
DVD	30
WMA/MP3	52
ビデオCD	38
マルチCD	65
バンド	57、61
ビットレート	112
ビデオ入力	77、78
ブックマーク	32
プリセットチャンネル	57、61、62
プレイバックコントロール	37、112

ま

マニュアル選局	57、61
マルチアングル	32、85、112
マルチ音声	112
マルチ字幕	112
マルチセッション	113
メニュー言語	84

ら

ランダム再生	
CD	44
WMA/MP3	53
マルチCD	67
リージョン番号	103、113
リセット	100
リアPCM	113
リピート再生	
CD	44
DVD	33
WMA/MP3	53
ビデオCD	39
マルチCD	66
リモコンコード	76、96
リモコンの操作モード	17

わ

ワイド画面	92
ワイドモード	93

アルファベット・数字

2カ国語放送	59、63
AVXモード	17
BSSM	58、63
CD TEXT	49、70
COMP	69
DTS	5、113
DVD自動再生	90
DVDセットアップメニュー	82
DVDモード	17
FUNCTIONメニュー	
CD	44
DVD	33
WMA/MP3	52
テレビ	62
ビデオCD	39
マルチCD	66
ID3 Tag	113
ISO 9660フォーマット	113
ITS再生	72
ITSリスト	71、72、73
m3u	113
MP3	6、104、114
MPEG	114
PBC	37、38、112
TVアスペクト	85
TVモード	17
VBR	114
WMA	6、104、114



この説明書の印刷には、植物性大豆インキを使用しています。

バイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

● ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>
<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

- カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**
: 【一般電話】 **03-5496-8016**
- 家庭用オーディオ/ビジュアル製品 (PDP・DVDなど)のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-22**
: 【一般電話】 **03-5496-2986**
- カタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-33**
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>
- ファックス受付 : **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受付センターへお問い合わせください。

部品受付センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**
: 【一般電話】 **0538-43-1161**
ファックス : ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81028**
: 【一般電話】 **03-5496-2023**
ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**
ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2004

< KMMZF > < 04D00000 > < CRA3624-A >